

Kansai University Alumni Association News

関大

第565号

平成23年(2011年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

T564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@m1.kandai.jp

10月16日(日)に校友総会を開催

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

若手校友落語家応援の「関大寄席」

11月23日(祝)に天満天神繁昌亭で開催

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③
学生ら28人が被災地で支援ボランティア活動に参加
社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」実施

トップに聞く④ 関西スーパー・マーケット 代表取締役社長 井上 保 氏



支援活動を終えて笑顔を見せる学生たち(ボランティアセンター提供)



「あすかの庭」

平成20年（2008年）3月、第1学舎エリアの景観が一変した。

昭和30年に建設され、前庭の楠の大樹とともに古い校友にはなじみ深かった第1学舎（旧法文学舎）1号館（写真左下）が老朽化し、耐震性の問題や、従来の法学部・文学部に加えて政策創造学部が教室、実験・実習室等として使用するため建て替えられることになり、平成19年4月から工事が進められた。

20年3月17日に鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階建ての新しい第1学舎1号館が竣工。前には人工芝を含む3,000平方メートルからなる庭が整備され、「あすかの庭」と命名された。

あすかの庭の一隅、簡文館の前には壁画発見35年を記念して「高松塚古墳壁画再現展示室」も3月11日に完成した。

今は、学生たちの憩いの広場となっている。



閏大 565号 目次

本部活動

平成23年度校友総会

10月16日（日）にBIGホール100で開催

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

「関大丸」で天神祭・船渡御を堪能

若手校友落語家応援「関大寄席」

11月23日(祝)に天満天神繁盛亭で開催

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して 連携プロデューサーの企業訪問 ものづくりの現場のいま（1）

7 東日本大震災に関する関西大学の主な対応について

被災者支援についてのボランティアセンターの対応

被災地支援ボランティア活動に参加して 学生4人の感想

社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」を実施

12 トップに聞く 関西スーパー・マーケット代表取締役社長 井上 保氏

16 きらっ人校友録 ⑯ 堀場製作所マネジャー 石川 純代さん

大學・學生關係

18 第1回大阪マラソン、協賛団体としてさまざまな取り組みを実施

第4回氷の甲子園を開催 80人が練習成果を披露

全国学生能楽コンクールで文化会能楽部が最優秀賞受賞

23 オーラル・コミュニケーション (39) 青春の薬を追いかけて 川原 正(下)

34 北から南から <各地支部だより>

九州地区的7支部が総会を開催 支部交流・他大学交流も活発に
組織部からお知らせとお願ひ

42 新刊紹介

44 会と催し、訃報



出発する学生を激励する篠倉淳由学生センター所長

過のビザを与え、米国へ逃れさせた。日本
のシンドラーと呼ばれる杉原千畝公使の偉業とされている。阪神淡路大震災の時、日本
本政府は全ての外国からの援助を断っているが、唯一ボーランドの援助だけを受け入
れていた。震災孤児を百年前の返礼として
ボーランドでトランプを取り除き日本に帰
してくれた。いま、東北の震災・津波遭児
たちが再びボーランドで養護を受けている。
主だった国立大学には日本語学科があり、
他国に例を見ない。もつともつと知つて良
い国だろ。

ド人兵士を救出し松山で介護し帰国させたが、不幸にして命を落とした兵士たちを手厚く葬つた。松山にあるロシア軍兵士の墓は実は当時のボーランド人兵士の墓である。第一次大戦後ボーランドは独立を回復した。シベリアに抑留されていたボーランド人政治犯たちは処刑され、多くのボーランド人児童が孤児となり遭棄されていた。日本赤十字社はシベリアに救出に向かい八百人の孤児を無事大阪で保護しボーランドに帰した。第二次世界大戦のさなか、連合国側のボーランド系ユダヤ人六千人が日本通

日露戦争開戦前夜、密かに来日したボーランドのピウスツキ将軍は、日本と組んでロシアを挟み撃ちにすることを提案したが結局、日本は単独戦争に踏み切り、ボーランド沖に展開していたバルチック艦隊を日

10月16日(日)にBIGホール100で開催

河田惠昭社会安全学部長が記念講演

河田 惠昭氏

プロフィール

関西大学理事・社会安全学部長・教授 工学博士
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

1974年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。1976年京都大学防災研究所助教授を経て、93年教授、96年巨大災害研究センター長。2002年阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長（兼務）。2005年防災研究所長、2007年巨大災害研究センター長、2010年より現職。京都大学名誉教授。21世紀COE拠点形成プログラム「災害学理の解明と防災学の構築」拠点リーダー。大都市大震災



平成23年度校友総会は、10月16日（日）に例年より30分早い午後0時30分から千里山キャンパス・第2学舎の「BIGホール100」で開催される。今年も「校友なら誰でも自由に参加できる」という総会構想にたって、総会・記念講演・懇親会の3部構成で実施されるが、第2部の記念講演では、防災・減災研究の第一人者として知られる社会安全学部長の河田惠昭教授に「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」と題して講演いただことになった。会費は無料。

なお、駐車場はないので、電車で来学ください（阪急千里線「関大前」駅下車。南出口からはエスカレーターあり）。

校友総会については、所管の総務部で企画の検討を進め、9月13日開催の第10回常議員会で開催要項が確定した。

校友総会は、例年より30分早い、午前11時30分受付で、午後0時30分開会。第1部総会と第2部記念講演はBIGホール100、第3部懇親会は総合学生会館メディアパーク・凜風館2階のダイニングホールティノア（生協食堂）で開催される。当日日程は次のとおり。

第一部総会（12:30～14:15）

開会の辞 学歌斉唱 物故

校友へ默祷 来賓紹介 会長

挨拶（寺内俊太郎会長） 来賓挨拶（上原洋允理事長、楠見晴重学長） 会務報告（北嶋弘一総務部長） 記念品贈呈

感謝状贈呈

第2部記念講演（14:30～15:30）
テーマ「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」
講師 関西大学社会安全学部長 河田惠昭先生

閉会の辞
第3部懇親会（16:00～17:00）
開宴の辞 乾杯 懇親 逍遙歌合唱 閉宴の辞

講演テーマは「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」

第2部記念講演では、3月11日に発生した東日本大震災以来、マスクミニに連日のよう登場するとともに、政府の東日本大震災復興構想会議委員としても活躍の社会安全

懇親会は恒例の
凜風館2階で開催

第3部懇親会は、例年ど

り総会会場に近く、総会・講

演会の雰囲気をそのまま持ち

込めるよう、凜風館2階のダ

イニシエートホールティノア（生協

食堂）を借り切って開催し、

応援団の演舞演奏などアトラ

クションを企画している。

講演要旨を述べておられ、い

つ起きてもおかしくないと言

われ、西日本に住む私たちも

多大な影響を受ける南海地震

にどう対応するかななど、示唆

に富んだお話しを伺えるもの

と期待が膨らむ。



平成22年度の校友総会

「関大丸」で天神祭・船渡御を堪能

多くの市民に「関西大学」をアピールし

「がんばろー! 日本」と復興を呼びかけ



大阪の暑い夏を象徴する天神祭。千年の歴史を持ち、日本3大祭に数えられる。そのクライマックス「船渡御」が7月25日(月)夕刻から行われ、昨年装いを新たにした奉拝船「関大丸」が今年も就航。大川の両岸や橋の上で祭

りを楽しむ市民に、「強い関西大学」を力強くアピールするとともに、今年は船の両舷に「がんばろー! 日本」の電飾を掲げ、東日本大震災からの一日も早い復興を呼びかけた。

「関大丸」の就航は、校友会の母校創立120周年記念事業の一つとして始められ、その後も、天満宮は学問の神様である菅原道

真公を祀っており、大阪で生まれ育った大学としてこれに参加することは意義があると、毎年就航。今年6回目となり、市民にもお馴染みの船になりつつある。

午後5時前から、約160人の乗船者が飛翔橋下の乗船場に集まってきた。これまでと若干乗船場所が変わり、戸惑う常連を尻目に、船に立てられた「関西大学」の幟を見て一直線に受付に来られた初参加者もいた。まだ熱気の残る午後5

時半、昨年同様、毎日放送・子守康範アナウンサーの司会で出航前のセレモニーが始まつた。まず、応援団第89代団長富田龍郎君の指揮で学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会会长が、「6回目を迎えた関大丸は、いろいろな年にいろいろな話題を乗せて関大丸は就航しています。皆さん、今年も天神祭を大いに楽しみましょう!」と歓迎の言葉を述べ、上原洋允理事長は、「大阪締めの最後は3拍ですが、

関大丸船上では、1つは菅原道真公にあやかり、世界を舞台に活躍する頭の良い学生が関大から多数輩出することを願い、2つは関西大学・校友会・教育後援会の3者が充実発展することを願い、3つは乗船の皆さんのが「多幸ご健勝を願うものです」と述べ、「一緒に大阪締めをやりましょう」と呼びかけ、全員で「うちまーしょ(パンパン)」「もひとつせ(パンパン)」「祝うて三度(パンパンパン)」と威勢よく

時半、昨年同様、毎日放送・子守康範アナウンサーの司会で出航前のセレモニーが始まつた。まず、応援団第89代団長富田龍郎君の指揮で学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会会长が、「6回目を迎えた関大丸は、いろいろな年にいろいろな話題を乗せて関大丸は就航しています。皆さん、今年も天神祭を大いに楽しみましょう!」と歓迎の言葉を述べ、上原洋允理事長は、「大阪締めの最後は3拍ですが、

関大丸船上では、1つは菅原道真公にあやかり、世界を舞台に活躍する頭の良い学生が関大から多数輩出することを願い、2つは関西大学・校友会・教育後援会の3者が充実発展することを願い、3つは乗船の皆さんのが「多幸ご健勝を願うものです」と述べ、「一緒に大阪締めをやりましょう」と呼びかけ、全員で「うちまーしょ(パンパン)」「もひとつせ(パンパン)」「祝うて三度(パンパンパン)」と威勢よく

手打ちを行つた。楠見晴重学長は、「関西大学は、天神橋筋商店連合会との提携などを通じ、天神橋と結びつきを持つていたが、さらに強い結びつきを持とうとしている。1つは、かつて天神橋の中にあった名水(井戸)を、復活させることになつていて。また3月11日に大震災が起きたが、寺井宮司さんはこの天神祭を契機に日本を盛り上げていきたいと願つておられる。天神祭に参加して、大阪から関西大学から日本をもっと元気にしていくたいと思っている。皆さんも大きいに楽しんでください」と挨拶した。



弁当や飲み物が配られ、一息ついたところで、校友の落語家・林家染太さん(平12学文)が登場。以後、昨年と同じ子守・染太コンビの名司会で進められた。

応援団リーダー部・バトンチアリーダー部の最初の演技が終わり、艦装を凝らした各船の電飾が川面に映えること、順次川岸を離れ、いよいよ船渡御が始まった。心地よい風が頬をなでる中、関大丸は、子守・染太両氏の呼びかけで



総合関戦勝利者賞授与式を開催 13の部に勝利者賞、3部に演武賞を授与

第34回総合関戦は、6月16日から18日まで関西学院大学上ヶ原キャンパスをメイン会場に開催され、関西大学は恒例の総合関戦勝利者賞授与式が、7月11日12時30分から校友・父母会館の校友会会議室で開催された。

これは、平成17年度から「強い関西大学」実現の一環として、総合関戦での各クラブの奮闘努力を促す方策の一つとして、学生センター所長の要請により、校友会か

ら勝利したクラブに「勝利者賞」、引き分けたクラブに「敢闘賞」、演武のクラブに「演武賞」を贈呈しているもの。授与式には、大学から黒田副学長、池内専務理事、笹倉学生センター所長、体育O.B会から小坂会長、海藏寺会長代理らと校友会から寺内会長、古川・田中両副会長、勝利した13部と演武3部の代表が出席。

金美齡氏との懇談会開催 訪台団にビデオレター託す

読売TV『たかじんのそこまで言って委員会』でお馴染みの金美齡先生と校友会執行部役員との懇談会が、7月12日にリッツカールトン大阪で開催された。

これは、9月23日～25日に行われる校友会第17回海外研修「台湾同窓との交歓と台北の旅」のイベントの一つとして、台湾校友との交歓、

戦だが、関大は3連敗を喫歎がゆいものがある。来年は勝利クラブでこの会場を一杯にしてほしい」と挨拶。黒田副学長は「思いやりの心を育てる。それがスポーツにある。今後も精進してほしい」、小坂OB会長も「来年こそは勝利してほしい」と激励。寺内会長から各クラブに「勝利者賞」「演武賞」を手渡し、8年ぶりに勝利したラグビー部の黒谷主将があれの言葉を述べ、授与式を終了した。



毎日 スタート&ダッシュ あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

印刷で人と時代をコミュニケーション

東洋紙業株式会社

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ!
私たちは東洋紙業です。

から義援金を頂いたお礼など

台湾建国100周年、関西大学創立125周年、東日本大震災に対して世界で一番多額の義援金を頂いた台湾へのお礼と関西大学にも台湾校友

伊藤事業部長の乾杯の後、日本人よりも日本人らしい心を持つた金先生と、軽快で楽しく歓談させていただいた。日本と台湾と関西大学校友のためにノーギヤラでビデオレターに協力いただいた金先生に改めてお礼申し上げます。

(事業部 芹繩隆史)

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロデューサーの企業訪問 ものづくりの現場のいま

1

平成23年の寺内会長年頭あいさつで、「40万人校友は、正課・課外活動等を通じて同窓・仲間の絆で結ばれており、無形の財産と言えるものを内在している。その絆を確かめ合い、深めながら研鑽し高めていく場が校友会であると考える。校友が地域支部、職域会等での地域に根差す活動を通じ、地域・社会に貢献すること、大学・校友それそれが保有するノウハウを双方、校友間で活用することにより、校友、母校の発展と地域社会に寄与できるものと思う」と連携の方向性を示された。

日本のものづくり経営に今必要なのは、まず自らの強みを見極め、それを活かし、さらに弱みを補うもののづくりの現場のネットワークの形成であると言われている。新しい産業の創造に資する「ミユーニティ」として、「関西大学校友会産学サークル」の実現を目指し、本稿ではその活動のひとつとして、校友が経営する企業のものづくりの現場を連携プロデューサーが訪問し、できるだけストレートに素描して、読者のみなさんに分かりやすくお伝えすることを心がける。

この記事が契機となり、異なるもの同士が関係性を持つことによって、両者のどちらにも何かを生み出す創造型の連携活動が展開することを期待する。

常に、できないとされていいること、かつ重要であり価値の高いこと挑戦

中嶋金属株式会社

中嶋金属（株）は、特殊かつ高度の電気メッキ・無電解メッキの基盤技術を保有し金メッキ加工を得意としています。特に「ファーストシューズ」、プラスティック樹脂に金、銀、銅のメっき加工は、他に類例のない

中嶋金属（株）は、特殊かつ高度の電気メッキ・無電解メッキの基盤技術を保有し金メッキ加工を得意としています。特に「ファーストシューズ」、プラスティック樹脂に金、銀、銅のメ

特殊な技術で様々なニーズに応えています。

最近では、赤ちゃんや子供の思い出の靴にメッキを施した

金メッキをはじめ、プラスティック樹脂（熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂）、セラミックス、ガラス



品に金メッキ加工する技術を強化し、実績を積み重ねてきました。

独自のメッキ加工技術の開発により高品質な仕上がりと非常に特殊なメッキ加工、具体的には部分メッキ、細管内部のメッキ、プラスティック樹脂へのメ

キ、ゲルマニウム、タンゲステンカーバイド（超硬）、フェライト（磁石）などの多種多様な素材について、業種の枠にとらわれず、あらゆるカテゴリーの

製品を自社で生産するという多品種少量生産のイノベーションを実現しています。金メッキで難しいとされている大型部品に

対してもむらなくメッキする技術を確立し、大型部品専用金メッキラインを設置しています。「他社と違うことをやる!」という創業以来の方針のもと、大阪城天守閣などの建築物の大型部



「何としてもやるつー」「社会に役立つ、喜んでいただける技術を!」の思いで、今日もなお、技術開発に挑戦しています。2002年にゲルマニウムに金属メッキを施す技術を開発、2007年に性質の異なる

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③

東日本大震災に関する関西大学の主な対応については、本紙563号(5月号)、564号(7月号)に、大学のホームページ掲載記事を中心まとめて掲載してきたが、8月24日から30日にはボランティアセンターが募集した学生らが現地での活動を実施した。ボランティアセンターのこれまでの対応と、参加した学生に感想を寄せていただいた。

被災者支援についてのボランティアセンターの対応

ボランティアセンター 神藤 典子

学生たちの熱い想い

関西大学ボランティアセンターには、「なにかしたい」という多くの学生が訪れるようになっていた。

東日本大震災発生直後から、「なにかしたい」という多くの学生が訪れるようになっていた。私は職員とともに、横浜の明治学院大学ボランティアセンターを訪問しているところであった。あれほど大きく、長い揺れを私はこれまで経験したことなかった。揺れのせいで気分が悪くなるほどであった。ほどなく、明治学院大学及びその地域全体の、電気・ガス・水が、そして鉄道が止まり、私たちは一瞬にして帰宅困難者となつた。翌日1日がかりで帰宅してからも1週間ほど、めまいがおさまらなかつた。私は、被災された

方々の恐怖、哀しみ、絶望感を想像する、とてもたまらないくなつた。

そういう経験を経て、学生たちの熱い想いも日々感じながら、私たちボランティアセンター職員は、被災地の情報を収集すること、学生スタッフをはじめとした学生たちの募金活動に対する支援を行っていた。

また、当センターでは、息の長い支援活動を行ないと考え、東日本大震災被災者支援に関する情報を収集し、鋭意検討を重ねるとともに、センターの取り組みの現状を報告し、「いま、私たちにできること」を参加者と一緒に考えるミーティングを、3月30日から定期的に現在も開催している。

6月に被災地を訪問

「被災地に直接的な支援を行いたい」、「災害ボランティアに行きたい」という学生の想いを感じながらも、余震が続き、学生の安全を確認できない状況下で、多くの大学が災害ボランティアに対してもう一つの立場をとつていた。

私自身、「すぐにでも被災地に行きたい」と思っていた。



たい」という想いを抱きながらも、「どうにすれば、学生に対して災害ボランティアを奨励できるのか?」という想いも日々感じながら日々を過ごしていた。

そんな中、私は「まず自分の目で被災地を見て、今後の支援を考えたい」という想いから、田中成典学生センター副所長とともに、6月2~3日に宮城県と岩手県の被災地視察を行つた。その際に、岩手県立大学で開催された『東日本大震災支援全国ネットワークin現

地会議』に出席し、岩手県立大学学生ボランティアセンターを訪問、山本克彦先生と学生スタッフの方々と話し合うことができた。

さらに、以前からつながりのある(特)ユースビジョンと、(特)さくらネット、岩手県立大学学生ボランティアセンターが連携する『いわてGINGA-NETプロジェクト』の情報を受け、各大学が参加するかどうか様子をみると、早い段階で参加する意思を表明した。それは、「その後、多くの大学が参加を決定する呼び水になった」ということであつた。

災害ボランティアに参加しようとする学生には、安全のための備え及び被災地での心構えなどを説明する災害ボランティアガイドを実施した。授業の関係などで参加できなかつた学生には、ガイドの録画DVDを上映するなどして対応し、115人の学生がガイドスを受講した。

学生と共に被災地へ

いわてGINGA-NETへの支援として、大学として、バスを1台チャーターした。私自身も引率者として参加し、ほんの少しであるが、避難所体験(参加学生ほか180人ほどが体育館で寝泊まり)をし、仮設住宅で学生が実施したサロモン活動にも同行させてもらい、たく機会も得た。

参加した学生たちの感想文をご覧いただきたい。

私たち一人ひとりができることは微力かもしれないが、今後もボランティアセ



07

ンターは、被災者支援を行う学生たちへの支援を続けていきたいと考えている。

なお、今回の被災地でのボランティア

プログラム概要は次のとおり。

日 時 8月24日～30日（いわて

G-INGA-NETプロジェクト】第5期）

活動地域 岩手県（大槌町、釜石市、

大船渡市、陸前高田市、住田町ほか）

実施主体 いわてG-INGA-NET

プロジェクト実行委員会（岩手県立大

学生ボランティアセンター、特定非

営利活動法人ユースビジョン、特定非

営利活動法人さくらネット）

活動内容 仮設住宅でのサロン活動、

子ども向けの学習支援、遊び支援、

お祭り等地域行事の開催支援等

参 加 費 1万5000円（参加者自
己負担）

参加学生数 関西大学生24人

（ボランティア活動支援グループ・グループ長補佐）



被災地支援ボランティア活動に参加して

体験を周りの人々に伝え
復興を考えていきたい

稲田 洪（院文一）

私たち、8月24日から30日にかけ、今回、東日本大震災で被災した岩手県でボランティア活動を行つてきました。

私たちの活動は主に、応急仮設住宅における新たな関係づくりを行つてきました。仮設住宅内に設置された談話室を利用して、「お茶っこサロン」を学生で開設し、利用される住民にお茶やジユースなどを出し、住民に混ざつてお話ををするという活動を行いました。

私のグループでは、釜石市の松倉とう地域の仮設住宅を担当しました。松倉では、私たちで2期目ということもあり、あまり「お茶っこサロン」の存在を認知されておらず、利用される住民が少なかったです。そこで、私たちはまず、チラシを作り、100戸近くある住宅を訪問し、あいさつ回りやチラシ配りを始めました。また、掲示板にポスターを貼るなど「お茶っこサロン」の認知を広げることに努めました。さらに談話室のレイアウトを考え、幅広い年齢層でも談話室に入りやすいような雰囲気を作る」とを考え活動を行いました。

住民の方々とお話しする中で、震災の様子や現在の生活の話を聞かせていただきました。

住宅、身内、大切なモノをたくさん失った方が大半で、心の傷は大きく、被災者が背負っているものは大きなもの



教訓として伝えるよう託され
学祭で防災キャンペーン企画

田澤 直樹（社3）

私はボランティア学生スタッフとして、震災に対し募金活動などを行ってきました。しかし、まだ復興の目処が立たない状況のため、現地で活動することで少しでも力になれればと思い、

今回参加しました。活動としては、釜石市の仮設住宅でサロン活動を行いました。この活動は、学生が子どもの遊び相手や話す場所を提供することで、住民のコミュニティ形成を手伝うというものです。しかし、初日は呼びかけても、サロンに近所の人がいないからと断られるなど、上手くいきませんでした。そこで、訪れるやすくなるようにかき氷の配布イベントを企画しました。最初は別々に食べる中で、来ていた人たちが、一緒に食べる中で、出身地について話し始めるなど、少しずつ交流が生まれていき、その様子が



見られただけで来てよかったです。

また、地元の方はとても好意的に接してくださいり、津波に遭ったときの話を聞かせていただきました。多くの方が、ただ悲しんでいるだけでなく、二度と多くの命が失われないよう、今回のことを教訓として伝えてほしいと話されていましたが、とても印象的でした。そして、それを聞いたからには伝えいく責任を感じました。

ただ、活動は4日間しかなく、住民の方と仲良くなってきたというところで、戻らなくてはいけなかつたのが残念でした。けれども、学生スタッフでは今年度の学園祭で防災キャンペーンを行うなど、今後も支援活動を続けていく予定なので、今回の貴重な体験を活かしていきたいと思います。

甘えてきた子どもたち 次は大阪ができる事を

松原 侑香(文3)



私が活動させていただいたのは釜石市の仮設住宅でした。約180世帯あり、目前には大きな公園があつて、私たちのバスが到着するとすぐに子どもたちが集まってお出迎えてくれました。この仮設住宅に今必要な事は何か話し合った末、子どもとの遊びの中にゴミ拾いやお片づけのやり方を取り入れちゃんだ教えることでした。

仮設住宅の子どもたちは、私たちにとても甘えてきました。一方、大人はこれから生活していくために仕事を探したり家事に追われて、子どもの面倒を見る余裕がないように感じました。だからこそ子どもたちは、甘えたい気持

ちを私たちにぶつけているのだと思います。また遊んでいると「津波」や「がれき」という言葉をよく耳にしました。幼いながら震災の恐怖を味わい、今でも頭に強く記憶されているのです。

限られた時間で精一杯の事をしようとしたが、そんな私たちを見て釜石市の皆さんには「みんな無理しないでね」と温かい言葉をかけてくださいました。ある女性の話によると、初めは何でこの地域がこんな目に遭わなくてはいけないのかと嫌になつたそうです。しかし5カ月たつた今、「前向きに生きたい!」と強くおっしゃっていました。



被災地の方々は、どこか寂しそうな表情を見せながらも、今ある現実に立ち向かおうとしているようでした。

実際にやって思つたことは、私たちは被災者とボランティアの関係ではなく、人と人として普通に接する事が大切だということです。またボランティアが自分の生活を犠牲にして支援することを

時間要する心のケアを痛感 今後も冬や春に参加したい

西谷 由佳理(社2)

「なぜこんな役立たずの年寄りが残って、たくさんの若者が逝ってしまったのか。私が逝けばよかつたのに」。普段は無愛想な元漁師のおじいさんが、涙を流しておつしやった言葉だ。約1週間のボランティア活動の中で最も心が痛んだ瞬間である。

私は、岩手県釜石市の日向にある応急仮設住宅で、住民の方々のコミュニティーの場である「お茶っこサロン」を運営する活動に参加した。今回の活動を通して感じたことは、被災者が負った心の傷は想像以上に深く、また外から見えにくいものである、ということだ。

活動初日、被災者の方々と初対面でお話しすると、みな明るく元気に前向きに生きようとしている印象を受けた。しかし、日が経つにつれてふとした瞬間に心の傷跡が見えることがあった。冒頭の言葉は活動3日目に聞いたもので、あり、たつた4日間の活動でこのようなお話しすると、みな明るく元気に前向きに生きようとしている印象を受けた。また、これらは3月11日のあの津波から半年経とうとしている。今“の状態”な大な時間を要するのか、考えさせられた。被災者の生の声を聞けたことはもちろんのこと、ボランティアと一緒に参加した関西大学や他大学の仲間、ボランティアに参加させてくれた家族や周りの人たちへの感謝の心、被災地や被災者の支援に対する今後の課題など、私は今回の活動で大切なものをたくさん得ることができた。それらを活かして、大阪からできることを真剣に考え行動し、また現地でのボランティアにも冬や春に是非参加したい。



東日本大震災に関する関西大学の主な対応について③-2

(ホームページ掲載記事を中心に)

学内で「復興に資する研究課題」を緊急募集、決定 社会安全学部が「被災地に学ぶプロジェクト」実施

8月3日 東日本大震災からの復興に関する研究課題の緊急公募の採択課題を発表

大学では、5月19日付で「本学において、未曾有の災害に対し、その復興に関連した研究課題にきわめて迅速に取組むことで、社会的責務を果たすことが重要であると思料いたします。つきましては、今般の震災による被災から、復興に資する研究課題を緊急公募します」と学内発表し、個人研究と共同研究の研究課題を募集していたが、7月6日に個人研究8件、共同研究3件を決定。8月3日に一般公開した。

採択された個人研究は次のとおり(研究者・研究課題の順)

△野間晴雄文学部教授△地域問題として東日本大震災を生徒に教えるための指針策定と教材作成△高屋定美商学部教授△災害復興基金の制度設計△東日本震災と未来に備えて△安田雪社会学部教授△東日本大震災時におけるソーシャルメディア上の拡散情報及び情報受発信行動の特性分析△橋本理社会学部准教授△防災・減災に関するNPO・地縁団体による地域組織化と組織間連携の有効性に関する研究△米澤朋子総合情報学部准教授△ぬいぐるみコミュニケーションを用いた精神状態安定化に

する実証研究△越山健治社会安全学部准教授△東日本大震災に必要な空問災害制御技術への提案△林能成社会安全学部准教授△鉄道の津波避難事前計画と緊急対応の検証△東日本大震災から学び南海地震に備える△葛谷明紀化学生命工学部准教授△シウム結合核酸モチーフの開発と簡易検査薬への応用。

また、共同研究は次のとおり(研究代表者・研究分担者・研究課題の順)△与謝野有紀社会学部教授△江川直樹環境都市工学部教授△草郷孝好社会学部教授△里見繁同学部教授△林直保子同学部教授△大門信也同学部助教△コミュニティ主体の復興をささえるコモンズの構築△「もやいの家」を通じた地域の再生△永松伸吾社会安全学部准教授△被災地におけるしごとづくりの実践事例の収集と普及△鈴木哲シス템理工学部准教授△小谷賢太郎同学部教授△朝尾隆文同学部助教△生体計測用マイクロ波レーダーを用いた障害物下の生存者位置特定と容体推定技術の開発。

部が8月22～25日に実施した「東日本大震災の被災地に学ぶプロジェクト」の詳細を公表。このプロジェクトには、44人の学生と院生が参加し、宮城県の仙台市、南三陸町、七ヶ浜町、亘理町などで活動を行った。

教員と学生有志による「被災地に学ぶプロジェクト」は、文字通り東日本大震災の被災地を訪問し、その実像に触ることで、社会安全学を志す学生たちの重要な学びの場としようという企画で、学生たちの印象や感想も含め、詳細な活動の様子を報告した(以下は抜粋)。

メインツアーリに先立ち、8人の社会安全学部生が、仙台市内で被災した企業を訪問し、巨大災害時の対応や経済活動、事業継続などについて考えた。

最初に訪問したのは、(株)鐘崎。元では有名なかまぼこ製造企業で、工場は浸水を免れたため、比較的早期に営業を再開できたが、観光客を対象としているため、地震直後は将来の見通しが全く立たなかつたとのこと。

次に訪問したのはキリンビール(株)東北統括本部。工場の被害は大規模で、現在もまだ全力で復旧作業中。しかし、社長が仙台工場の継続と社員全員の雇用維持の方針を打ち出したことで社員全員の士気も上がり、9月の仕込み開始、11月の出荷開始に向けて頑張っていることなどを伺つた。

最後の訪問は富士ゼロックス宮城(株)。常々からBCPを作成し、安否確認訓練なども定期的に実施していたが、地震直後は携帯各社のショートメールしか機能しなかつたため、それで安否を確認するなど、マニュアル通りにはいかなかつたとのこと。興味深かつたのは、徹底的に顧客の一人一人の声を拾い上げ、徹

なお、研究期間は原則として、7月8日から24年3月31日まで。

8月29日～9月1日 社会安全学



それらにどうやつて対応していくかを積み上げながら、事業継続を組み立てていったという話。「地震があつたから仕方ない」といった甘えは許されない、といふ言葉は、これから社会に出て行く学生達にとって非常に印象的だったようだ。また、学部の危機管理委員を務める学生は、災害が発生した場合の対応が必ずしもマニュアル通りにいかないことなどから、本当に使えるマニュアルや計画のあり方について、より考えを深めたようだ。

22日、いよいよ津波被災地のツアー開始。今回のコーディネート役は宮城復興支援センター・船田究事務局長が務めてくれた。

最初に、マスコミでも頻繁に取り上げられた南三陸町の防災庁舎を訪問。ここで最後まで津波避難を呼びかけ続け、ご自身が津波の犠牲になられた若い女性職員や多くの職員、地元の方が亡くなられた。現在は祭壇が用意され、津波被害のシンボル的な存在になつていて。また、「さかなのみうら」という魚屋



無くなつた方はほとんどいなかつた。チリ地震津波の経験から、とにかく高いところに逃げろと言う教訓が親から伝えていたからだとのこと。避難袋を用意していたが、それを持って逃げる余裕がない、できれば大事な物は避難場所に置いておいた方が良いといった具体的な話も聞かれた。

2日目は、車を北に向かわせ、車中から気仙沼市の被害を視察。気仙沼市は津波の被害があつたところとそうでないところの差がはつきりとしていた。その後、再び南三陸町方面に戻り、道中によつて倒壊している現場を見た。想定ではこの看板までが浸水予想区域だったが、実際にはずいぶん上まで津波が押し寄せてきたことがはつきりと分かつた。

ベイサイドアリーナ下のエムズ食堂にて昼食。倉庫を改修して営業しており、来客のほとんどは外部から来た応援の人だが、夜は居酒屋として地元の人の数少ない憩いの場になつてゐるそうだ。その後、南三陸町立歌津中学校を訪問。校長先生は歌津出身で、小さい頃にチントなどを車内から見学した。震災からしばらくは、ここに多くの支援者や被災者が集まり非常に混雑していたとのこと。アリーナ内部では現在も身元のわからぬご遺体の照合作業が警察によって行われているなど、生々しい津波被害の実態も垣間見られた。

本日の宿舎であるニュー泊崎荘に到着。地震からしばらく避難施設にもなつていたという。ここで、近隣の仮設住宅で生活する6人の女性に話を伺つた。暮らしていた泊浜地区は約120世帯程の集落で、約半数が津波により流失したが、



(掲載写真は「関西大学ホームページ」より
転載)

大聲で呼びかけて難を逃れ、子ども達にはほとんど被害は無かつた。

最後は仙台市内に戻つて、荒浜地区的被災の様子を見学。広大な平野部には多数の住宅があつたことが伺えるが、ほとんど何も残っていない。これだけの平野部では避難すべき場所がほとんどなく、ある小学校では、児童を自宅に帰してしまったために、帰つた児童とそれを追つた教師が津波の犠牲になつたという話も船田さんから紹介があった。全ての行程を終え、午後4時半に仙台駅に到着し、そのまま解散となつた。台駅に到着し、そのまま解散となつた。教員、学生、それぞれが、被災の実態を学び、いろんなことを深く感じたと思う。解散時には、「今後の被災地が気になります」「また来たいです」という声も学生から多数聞かれた。これをきっかけとして、さらに社会安全学を深く学びながら、被災地との関わりを持ち続けていてもらえたたらと思う。

株式会社関西スーパー・マーケット 代表取締役社長

井上 保氏

(昭44学経)

Tamotsu
Inoue

兵庫県伊丹市に本社を置く株式会社関西スーパー・マーケット。生鮮食料品を中心としたスーパー・マーケットとして関西圏に60店舗を構え、「普段の食生活をより豊かにすることにより地域のお客様から信頼を得、社会に貢献する」を経営理念に事業を展開。「関西スーパーがあつてよかった」、「関西スーパーがあるからここに住みたい」と思つてもらえる店舗の実現・拡充を目指している。

そのためには、「強い関西スーパー」であらねばと、5千300余人の従業員(アルバイト含む)の先頭に立ち、陣頭指揮をとる井上保社長(昭44学経)を本社に訪ね、競争激化の業界で躍進に向けた熱いお話しを伺った。

国内外の地震被害に義援金 富崎県の口蹄疫被害にも1年間

先日、関西スーパーのお店で買物をさせていただきました。店内のボスターが目に入つたんですが、東日本大震災について売上げの1%を義援金として寄付されているんですね。

金曜日ですね。当社は、東日本大震災が発生した3月11日の「金曜日」を忘れないという理由により、新たな支援活動に取り組んでいます。平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で、神戸市・西宮市・尼崎市・伊丹市他において店舗倒壊をはじめ31店舗が被災し、甚大な被害を受けました。

地域のみなさまと共に復旧・復興の試練のか、全国各地のみなさまのあたたかいご支援とお取引先様からの物心両面にわたる多大な援助と救援をいただきました。

それ以来、国内外を問わず、地震に関する被害には店頭で義援金を募集して、集まった金額の倍額を

足して、例えば募金が50万円集まつたら当社から100万円を足し、150万円を日本赤十字社を通じて送らせていただいている。最近では、2009年のサモア沖地震・スマトラ沖地震、10年のハイチ地震、チリ大地震、中国青海省大地震、今年初めのニユージーランド地震などです。

また、富崎県の口蹄疫被害については、えびの高原の海拔720mのところに当社の契約牧場「720(ナーワ)牧場」がありますので、牛肉の売上げ100gにつき1円の支援金を1年間継続し約760万円を富崎県に送りました。

ただ、今回はちょっと規模が違うということで、地震の起きた金曜日に因んで毎週金曜日の売上げの1%を寄付することに決めました。

なお、今回の東日本大震災では、スーパー業界は、大きな活躍をしました。国や地方自治体だけに頼つていたら、生活物資はほとんど被災地に行かなかつたでしょう。スーパー業界は、わが社も含めてかなり多くの商品を被災者の手に直接届く方法で送りまし

た。その意味で、スーパー業界は非常に大きな評価をいただきました。



東日本大震災義援金の店内ポスター



いのうえ たもつ 井上 保 社長プロフィール

昭和22年	1月	大阪府東大阪市生まれ
昭和44年	3月	関西大学経済学部卒業
昭和44年	3月	(株)関西スーパーへ入社
平成元年	9月	商品部長
2年	6月	取締役就任
8年	6月	常務取締役就任
12年	6月	専務取締役就任
14年	6月	代表取締役社長就任(現在)
15年	6月	(株)関西スーパー物流代表取締役社長就任(現在)
〔団体役員〕		
平成13年	6月	オール日本スーパー・マーケット協会副会長就任(現在)
16年10月		学校法人関西大学評議員(現在)
18年 5月		日本チェーンストア協会副会長就任(現在)
19年 6月		伊丹商工会議所副会頭就任(現在)

関西スーパーは、昭和34年12月に創業され、平成21年に50周年を迎えられました。井上さんは平成14年6月に社長に就任されて、多くの改革に取り組まれたとお聞きしています。また、就任の挨拶で「闘う集団」を目指すと表明されたそうですね。

就任時には、会社創立から約40年経っていました。その間、関西スーパーは日本におけるスーパー・マーケットの草分け的存在から本格的なスーパー・マーケットとして発展してきており、売上高も利益も右肩上がりで結構順風満帆でした。しかし、競争が激しくなると利益はだんだん減少傾向に。経費が利益を圧迫してきました。それでも商品に自信があり、売上げさえ伸びれば良いと社員みんなが思っていました。

私は、社長就任当初から、関西スーパーは大きな転換期に差しかかっているという認識があり、課題

を全て洗い出したといひ、何と30項目以上も見つかりました。その中から8項目の緊急課題を選び、社員の前で私の考えを繰り返し説明し、改革に取り組みました。赤字事業からの撤退、競争激化による業の売上低迷状況からの回復、財務体質の改善、人事制度改革、組織改革、店舗改装などですが、闘団」というのは生きるか死ぬか。ぬるま湯体质から脱却して勝つための集団にしなければならないと「闘つた闘団」を標榜したわけです。なお最近は「強い関西大学」と「つ母校の意氣に刺激を受けて「強い関西スーパー」というフレーズを使っています。強いといふことは非常に重要なことでして、交渉事でもやはり強く交渉しなければならない、商品そのものも従業員も、強くなりなければならぬなど、お客さまに頼していただき、厳しい競争に打ち勝つためには「強い関西スーパー」を掲げたいと思つています。
さまざまな改革を進めておられます、コストダ
ンのためにリストラは考えなかつたのでしようか。

『流通革命』を読んで進路を決める
業界は右肩上がりから競争激化時代に

関西スーパー入社の動機は何でしたか。

頃から中央市場によく行っていました。学生時代にはそこでアルバイトもしました。ものすごく活気があって楽しくて、食品の仕事つていいなあと考えていて、こちらもあり、また大学の3回生の時に、東大教授だった林周一先生の『流通革命』といふ本を読んで、この業界に行ひたと思つたんです。

当時のスーパーは、「スープと出でパツ」と消える」と言われていた時代でした。ダイヤー、西友、シロとがありましたが、まだまだ流通の中でも地位は高くなかったです。関西スーパーも小さい会社でしたが、人事部の人々が関大の卒業生で、その縁もあって入社しました。

リストラはしません。わが社は人あっての会社ですから。ただ、基本的には终身雇用制ですが、年功序位ではありません。能力には個人差があります。これは仕方ない。とはいへ一生懸命やっている者は認めます。一生懸命の接客であれば、心は通じてお客様はまた来てくれます。今年の春闘でも労働組合には「要求は聞く。ただし労働の質を上げてくれ」と回答しました。

ル・マーチャンダイズ・ストア（GMS）といつて、雑貨や衣服、おもちゃまで何でも扱います。今は状況が変わりまして食品を中心にしていけないようになりますが、本来の



1次オイルショックの時で、「よし!」と思つて、アメリカでトイレットペーパーを貰い付け、船で送つたのですが、お客様からクレームが入りました。なんですが、幅が大きすぎてホルダーに入らなかつたんです。幅が大きすぎてホルダーに入らなかつたんです。「すいません。下に置いてお使いください」と謝ります。

日中国交回復の翌年になる50年には中国に行きました。もちろんみんな人民服を着ており、今と違つて何も買ひ付けるモノがなかつたことを記憶しています。ベトナム戦争が終わつて10年目の年にはベトナムに行きました。今から30年ほど前になりますが、こちらも何も無かつたのですが、今ではよく見かけますが、当時としては珍しかつたドラゴンフルーツという果物を見つけて、それをシンガポール経由で日本に運びましたね。

そうそう、アメリカから、ネスカフエのインスタントコーヒーを日本に初めて輸入したのは私です。当時は日本ネスカフエ社しか日本での販売はできませんでした。それをあえてアメリカから入れました。その後フィリピンとかいろんな所から入つてくるようになりました。

そういう情報は、どうやつてキャッチするのですか。

■ 入社2年でハワイ、4年でアメリカへ
新しいものを見つけては輸入をした

入社後はどんな部門を担当されましたか。また、仕事をしてきた中で何か印象深いことはありますか。

私が入社した当時は、ちょうどいろいろな制度が作られた時で、それに運良く乗ることができたという感じです。最初は仕入れの部門にいました。入社2年後の昭和46年に研修でハワイに派遣されました。私が海外派遣第一号でした。1ドル360円の時代です。48年にはアメリカに行かれました。ちょうど第

中国産といふと、どんな農薬を使つてているか分からぬ。やっぱり買うのは止めようかと、何となく引く気持ちがありますが、たとえばタケノ「など」は一番安全なんですよ。だから農薬を使う必要が一切無いのですから。それを日本のお業者が产地をこまかすからいがんのです。

今は、中国で生産する時は、全部こちから要求を出します。こんな施設を使い、こんな飼料を与えて育てなさいと。今回提携した養殖の鰻も、切身の一片でいいの鰻が判ります。わが社の牛肉が従前からそんなんです。肉の一片を取ればどの牛のどの部分が全部判るシステムを採用しているのです。そういう点をきちんと明示し、お客様にもよく知つていただいています。

また、一度取引を始めた相手とは長いスパンで付き合います。フロリダからのグレープフルーツはもう6年になります。値段も高いですが、常に太陽が当たる場所だけの実を探つて送つてと、無理を聞いてもらつています。

そうして仕入れないと国内だけでは供給ができない状況です。スーパーのベースである食を提供する上で、商品を集荷する能力と調達する能力が落ちてくることは、棚に商品が無くなることを意味します。われわれの使命が果たせないわけですから、店を閉めなければなりません。事は重大です。



六甲山で植樹する井上社長

中國の人ではなく、日本人ですか？

そうです。中国でできた物を日本産なんて言つかるおかしくなるんです。

食料の自給率が大幅に下がっており、心配しています。

日本では第1次産業があるそかにされていますね。日本はもっと作らなければいけないのに作れない。日本の農業は零細企業で、高齢化の問題もあります。

何とか農家の人たち、酪農や畜産の人たちとこぢからが一緒にになってやっていきたいのですが、いろんな法律が壁になっています。だから外国から入れざるを得ない。輸入に関しても、最近は大分緩和されました。が、それでも法律の壁がたくさんありますね。

“ありがとう”と言われる店になろう 地域に密着した食育・体育活動を推進



平成23年5月にオープンした奈良三条店

社長になられて、常日頃心がけておられるることは、私がいつも従業員に言っているのは「感謝」です。もう一つは、山本五十六の「やつてみせ、言って聞か

せて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」という言葉と共に感じ、忘れないようにしています。なぜかと言いますと、自分でやって初めて分かる事があるんですね。それを必ず確認してからものと言うようにしています。

今の若い従業員には、「お客様に”ありがとう”と言われる店になろうや」と言っています。

「関西スーパー」を一言い渡すという店ですか。

「魚・肉・野菜などの食料品を、新鮮で価格もできるだけ安く、お客様が使い易く食べ易い形で提供し、お客様に健康な生活をおくってもらひ”スーパー”です。そのために全従業員一丸となつて日夜努力しているます。

また、信用・信頼を前提とした商売ですから、売場に並ぶ商品がどこで、どのように生産されているのかを実際に体験するツアーや料理教室、工場見学など「食育活動」にも力をいれていますし、地域交流の一環として、各種スポーツ教室や店頭イベント、自然体験活動などを行い、「関西スーパー」がこの地域にあってよかつた、「関西スーパー」のある地域に住みたい」と言われる店舗の確立に努めています。

最初にお話した募金活動と同じく、社会貢献の一つとして六甲山の植林活動も行っています。これには本当に多くの方に参加していただいています。夏には新入社員の環境教育研修として熊笹などの下草刈りをやらせてています。

新入社員研修ではもう一つ、宮崎県720牧場の産地見学があります。牧場内には畜魂碑があるんですね。最初に案内された時は軽く頭を下げる者がほとんどです。それが一連の牛の屠畜・解体作業、もちろんドットと血の流れる場面もありますが、それを見た後は、全員が手を合わせ深く頭を下げますね。「いただきます」という言葉には「命を頂戴します」という意味があり、命ある食べ物と、それを育てくれた人に感謝の気持ちを表す言葉だと解釈しています。

魚にせよ野菜にせよ、わが社で扱う商品はほとんどがそうですね。この研修で音を上げる者は、わが社には向いていないかなと思います。

将来に向け財務体质を強化 地域に役立つ出店を主眼に

最後に、これから関西スーパーについてお聞かせください。長期ビジョンとして「チャレンジ100！2020年100店舗、年商2千億円」を掲げておられます。

お陰様で昨年度は4店舗、今年5月には奈良県では初めての奈良三条店をオープンしました。株主さんから「阪神間だけなら阪神スーパーに社名を変えたら」と言われてたんですが、奈良県への進出でよつやく社名どおりの会社になりました。

ただ、長期ビジョンは目標であることは確かですが、規模拡大だけでなく、地道にこなすことでも大事で、まず財務体质の強化を考え、3年間、毎年10億円の赤字でも耐えられる体质にしよう」と公言し、実施しています。余計な借金はしないで減らしていく、資産価値も高めています。スーパー・マーケットは、地域のお客様に毎日の生活に必要な食材と消耗雑貨を提供するのが使命ですので、出店に関しては地域の方々に喜んでもらえること、そこで役に立ち社会貢献できることを主眼に置いています。状況をよく分析し、店舗内容もしっかりとしたものを作りながら、出店していきたいと思います。時にはストップをかけることもまた必要なことだと思います。

現在、東証・大証の2部に上場しておりますが、これからは1部を目指したいですね。

今日は長時間に亘り、貴重なお話しをお聞かせいただき、ありがとうございました。食の安全・安心を守りながら、ますます発展されますことをお祈りしております。

The logo consists of large blue and purple stylized characters 'さ' and 'と'. A central vertical element features a purple figure standing on a grey base, with a blue circle above it. Below the characters, the word '校友錄' is written vertically in black. The entire logo is set against a white background.

Kandai Kiratto

Part
32

ことを学ぶ機会に恵まれて
いましたし、ものが育つプロセスを観察するのが大好きでしたね」と幼少期を振り返ります。

中学時代はバドミントン部でしたが興味関心と言えば、ダサへの夷の具合は、

環境 境から医療、科学、半導体、自動車計測など様々
な分野の計測機器メーカー堀場製作所。ひとことで
言うなら空気や水の中の成分、放射線といったような人間
の五感では分からないものを正確に測る機器を作っています。
社は『おもしろおかしく』は、人生の一番よい時期を過す「会
社での日常」を、積極的にエクサイティングなものにして欲

しいという創業者の願いが込められているとか。男女の区別なくチャレンジ・マインドを評価する会社でもあります。「もの作りの根源を支えている」と自負する石川さんに分析機器への想い、仕事の楽しさ、後輩に寄せる願いをお聞きしました。

おじぎ草やカビの生えたパン。
知りたいことはいつも身近な場所に

閏

関 場製作所の開発部に入社した石川さん。現在は、分析装置の分析部門で分析結果の提供や最適な測り方のノウハウを提供しています。硬くて難しそうな仕事ですが、そもそも理系の道を目指すことになったのは、幼少期の家庭環境が大きく影響しているそうです。石川さんは兄と双子の弟を持つ四人きょうだい。小学校の入学前から、おじぎ草は触るとなぜ閉じるのか不思議に思っていたり、カビの生えたパンをこうそりビニール袋に入れて、カビの増殖を觀察するような女の子だったとか。「子どもの頃、家でトマトやナス、キュウリなどを種から育てていました。母は私たちきょうだいに対して、実物を通して体験し、そのプロセスから学んで欲しいという考え方だつたんです。家の近くに科学博物館もありましたから、弟と何十メートルの長さの糸電話を作つて、相手の声が聞こえた時はすごく感動したことを見ています。子どもの頃から知らないこと、知りたい



▲イギリスへ出張。週末にロンドンへ

求められる分析技術をもとに 現代社会のニーズを掴む

石川さんが就職活動をしたのは、バブルが弾けた翌年。これまで菓子折りを持つて挨拶に来ていた企業の人事担当者がぱつたりと姿を消したという年だったそうです。特に、理系の女子学生にとっては打って変わって厳しい状況になり、研究室では教授推薦でも落ちる人が出てきました。はじめから女性は採用しない、という企業が続出したと言います。そんな中、石川さんは当時の社会的な課題だった環境問題に关心があつたこともあり、地球環境に貢献していた堀場製作所に注目しました。女性の不採用が多い中、また断られるかと恐る恐る人事部に「女性なんですか?」と電話をかけてみると「それが何か?」という返事。「堀場製作所は、性別ではなくて人を見る会社なんだって思いました。それに地球環境に貢献していると言つても、直接的に電話をつなぐ機器を作っているのではなく、地球環境を正確に分析する、

石川さんが所属していた炭素材料研究室の小田教授には、視点を広げることや異なるものを認めること、そして、今自分のしていることが後にどういう影響を及ぼすか意識することを叩き込まれたとか。「私の関大のイメージは大らかで家族的。研究室のみんなも朝から晩まで、面白がつて勉強していました。学生時代に教わったいろいろなことに、今でも本当に感謝しています」と関大時代を振り返ります。



▲小田教授の研究室にて

系の人がロジカルに
ストーリー立てて話
すのに対して、文

系の人は感覚的に捉えて、思いついたことをパッと表現するんです。一瞬のひらめきが必ずふるえ

進めいかが光っている
というか。目標に
邁進することも大

切ですが、ハプニン
グを楽しむ大きさ

——今で言う、ハブン

石川さんが所属し
視点を広げることで
自分のしていること

ることを叩き込まわ
で家族的。研究室
強してしました。学

でも本当に感謝して

求められる 現代社会のニ

石川さんが就職
これまで菓子

事担当者がぱつたり
特に、理系の女子シ
になり、研究室では

はじめから女性は挿
います。そんな中、

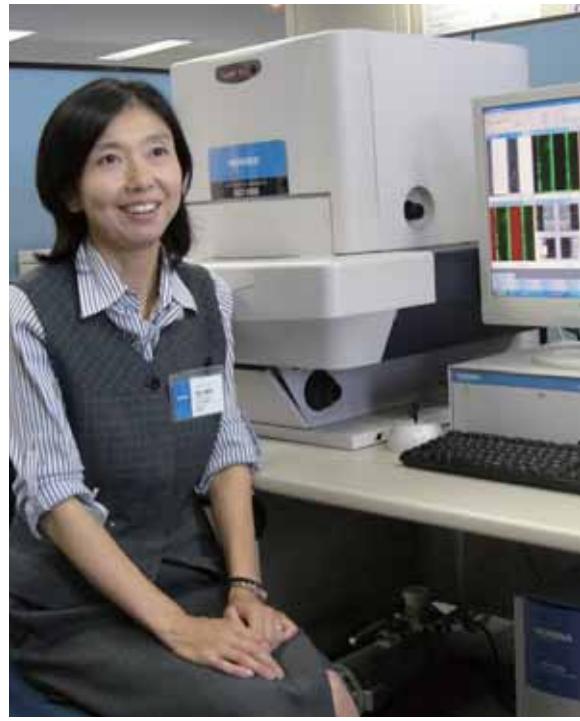
いた堀場製作所に注
また断られるかと恐

と電話をかけておいた。

そのための基礎データを出す計測機器を作つてゐる会社だったんです。つまり、産業を支える根幹の機器を作つてゐるということに大きな魅力を感じました」。

石川さんは、ものの真の姿は、数値でこそ判断できると考へております。世の中のニーズを見ながら分析を行なうことが大切だと言います。現在のアブリケーションリサーチ部の前身である分析センター時代、石川さんはひと月に一度は海外出張をする時期があるなど、三十歳前後で製品を通してクライアントと関わる第一線のフィールドに出る楽しさとやりがいを実感しました。しかし、何より嬉しかったのは、堀場の分析結果が活かされ、クライアントのメーカーから新しい製品が生まれて世の中にされること。「あの時の分析が、こんなふうに活かされて社会の役に立つんだと分かった時は、本当に嬉しかったですね」と語ります。

堀場の分析機器で調べていることはもちろん地球環境に関するものだけではありません。身近なところでは、食べ物に混入した異物を発見する、おいしく感じられる材料比率を分析する、芸術作品の塗料から年代を調べるということもあるそうです。「例えばチョコレート。同じカロリーなのに甘さが全然違うことがあります。これは舌のひだの中に入る粒子の大きさによって感じられる舌触りや甘さが違ってくるから。口どけがよく甘すぎないチョコレートを作るには、どんな粒子の原材料を、どういう比率で混ぜればいいかというような分析です。他にも、レンズが本当にキューティクルによる作用を及ぼしているのかどうかといったことを調べることもあるんですよ」と話します。



▲分析センター内、担当する分析機器の前で

石川さんはユーザーがなぜそれを測りたいのか、測ることで何を求め、どんなメリットがあるのかを考へて分析機器を提案しています。それはつまり、先述したように、様々なメーカーを通して世の中のニーズを見ることに他なりません。「私たちの仕事は産業を支えている、人々の暮らしを支えているという自負があります」と現在の仕事に対する思いを語ってくれました。

妊娠・出産がきっかけで 広がった新しい視点

石川さんは、チームリーダーとして仕事が一番忙しく、また一番楽しかった時期に産休・育休を取ることに

あげられました。「あと、理系の女性は男性社会の中で一途に頑張りがち。でも、物事を楽しむスタンスで取り組めば『女性』ではなく『個性』として認められると思います」。



▲お子さんと一緒に2010年

出産・育休を経てマネジャーで復帰 「プロセス重視」のしなやか理系

石川 純代さん

プロフィール

石川 純代（いしかわ すみよ）さん

(株)堀場製作所 開発本部 アブリケーションリサーチ部 マネジャー。
一九九三年 関西大学 工学部 化学工学科を卒業し、堀場製作所に入社。開発部署、環境工業計測開発部に配属される。四年目に分析センター（現部署の旧名）に異動、現在に至る。多岐に渡る分析のニーズをユーザー目線で提案、解決する。二〇〇九年から約二年の産休・育休後、今年四月より復帰。一児の母。

なります。「それについてはとても悩みました。でも、視点を変えて見てみることを楽しもうと考えたんです。これもハブンスタンス・アプローチの考え方ですね」。そこで、石川さんが下した決断は後輩たちを育てるために、敢えて長期間休むことでした。「三ヶ月とか中途半端な期間ではなく、彼らが自分でやるしかないという状況を作ることにしました。戻ってきた時に私の居場所がなくなるくらい、成長して欲しいと思いました」と話します。一年半後、復帰して戻ってきた時は、「新入社員のような気持ちだったとか。現在は時短勤務ということもあります。業務を倍速でこなしているそうで、ランチタイムにミーティングが入ることも増えたとか。ミーティングと言つても、納期や成果が求められる業務の打ち合わせだけでなく、既婚女性をはじめ、ママさん社員や妊娠社員など、これまであまりゆっくり話す機会のなかつた他の部署の女性社員が集つことも。その時間は仕事だけではなく、女性ならではの話もできる大切なブレイク・タイムになつていらっしゃいます。最後に今後のビジョンをお聞きすると、若手育成のプロセスを楽しむこと、分析機器のソリューション・プロバイダ（お客様が抱えている課題に、最適で効果的な分析手法を提案することで解決することを目指すこと、子どもに働く背中を見て何かを感じ取つて欲しいことの三つがあげられました。「あと、理系の女性は男性社会の中で一途に頑張りがち。でも、物事を楽しむスタンスで取り組めば『女性』ではなく『個性』として認められると思います」。

新しい祭り・第1回大阪マラソンを応援! 協賛団体としてさまざまな取り組みを実施

号外

大阪から日本を元気に!
2011年10月30日 大阪マラソン開催

大阪マラソン～OSAKA MARATHON 2011～（主催：大阪府・大阪市・大阪陸上競技協会）が開催される。

大阪マラソンは、単なる「マラソン大会」ではない大阪独自の新しい「祭り」として、世界各地から3万人のランナーを募るとともに、世界で最も多くの人がチャリティーに参画することをめざす大規模市民マラソンとして企画され、

大阪で「考動」してきた
関西大学が全力で応援！

大阪マラソン開催記念シンポジウム in 関西大学』を開催

「マラソンを通じて大阪の街を元気に」との趣旨のもと、10月30日（日）に大阪城公園前をスタート、インテックス大阪をゴールとする「第1回大阪マラソン～OSAKA MARATHON 2011～」（主催：大阪府・大阪市・大阪陸上競技協会）が開催される。

早くからオフィシャルスポンサーとなり、大会に向けてさまざまな取り組みを行っている。具体的には、海外協定大学を通じた大会の広報活動、マラソンや大阪の魅力を紹介する一般市民向け公開講座、スポーツ教室を開催。また、英語、中国語、朝鮮語が堪能な学生・留学生・職員など通訳ボランティア23人と、給水ボランティアとして学生や生徒ら400人を派遣するとともに、当日コース沿道に設けられるイベントスペースでは、応援団はじめ学生の各団体が観

客とともに応援イベントを繰り広げるなど、協賛団体として大会運営に協力する。さらには、教育・研究機関としてこのマラソンに関する学術調査を行うことになっている。

今回の協賛は、大阪を拠点とする総合学園として、この祭りに加わり、盛り上げることで、大阪・関西の活性化、元気な大阪と日本の復活に貢献すること、また、学是として掲げる「学の実化（じづけ）、すなわち「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「外國語学習の必要」「体育の奨励」の理念を、大阪マラソンを舞台に実践することを目的としている。

会場 千里山キャンパス・BIGホール100 【プログラム】
第1部 基調講演 「ランナーから見たボランティア」 講師 谷川真理氏（マラソンランナー）
第2部 パネルディスカッション 「スポーツボランティアは地域を変えられるか」 パネリスト 宇佐美 彰朗氏（NPO法人日本スポーツボランティア・アソシエーション委員会事務局調査役兼事業運営部長） 西山 哲郎（関西大学人間健康学部教授） 安田 雪（関西大学社会学部教 授） 松本 勝己氏（大阪マラソン組織委員会事務局調査役兼事業運営部長）

ぜひ、校友の皆さんもご参加ください。

開催日時 9月24日（土）午後1時30分～4時（午後1時開場）

会場 千里山キャンパス・BIGホール100
【プログラム】

第1部 基調講演
「ランナーから見たボランティア」
講師 谷川真理氏（マラソンランナー）

第2部 パネルディスカッション
「スポーツボランティアは地域を変えられるか」
パネリスト
宇佐美 彰朗氏（NPO法人日本スポーツボランティア・アソシエーション委員会事務局調査役兼事業運営部長）
西山 哲郎（関西大学人間健康学部教授）
安田 雪（関西大学社会学部教 授）
松本 勝己氏（大阪マラソン組織委員会事務局調査役兼事業運営部長）

なぜ、スポーツボランティアなのか」と題する記念シンポジウムが開催される。

市民マラソンにおけるスポーツボランティアの果たす役割、及ぼす効果・影響などを、成熟した社会の実現のために、あらゆるボランティアが担う役割や社会的意義について考えるもので参加費は無料。

0007）まで

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

関西大学生協グループ

自動車保険 そんぽ24

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 OFF
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

保険代理店事業部・事務機器事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

第4回氷の甲子園を開催 80人が練習成果を披露



高槻キャンパスアイスアリーナで7月9日と10日、第4回「氷の甲子園」が開催された。初日にはジュニアスケーターによる演技会が行われ、途中停電するハプニングがあったものの、小中高生約80人が日頃の練習の成果を披露し合い、上位者には表彰状とメダルが贈られた。



エキシビションでは、町田樹選手（文4）が前日完成したばかりという新SPを初披露し、さらにプロスケーターで本学アイススケート部コーチの田村岳斗氏が華麗な演技を披露すると、市民や保護者、学生など約500人で埋まった観客席は大いに盛り上がった。



そこで合意に達し、7月27日に大阪大学豊中キャンパスで協定書の調印式を行った。今後、4大学間での教職員や留学生の交流、留学生と産業界の交流、海外拠点での活動、さらには情報や資料の交換を行うなど、国際化を推進するうえで連携を図っていく

そのはじめの取り組みとして、4大学の関係教職員が定期的に会議を開き、連携して取り組む具体的な事業を検討していく。

この調査は、関東・東海・関西エリア在住で2012年3月に卒業予定の高校3年生7万2656人を対象として実施されたもので、志願度の男女別では男女とも1位。文理別では文系1位、理系6位となっている。

また、関西圏における「知つている大学」の総合ランキングは昨年に続き2位だが、男女別では男子1位、女子2位。文理別では文系・理系とも第1位になった。

なお、イメージ項目別ランキン

2位は近畿大。

（株）リクルート社が実施し、7月21日に発表した『高校生に聞いた大学ブランドランク』で、進学ブランド力調査2011において、関西大学は、4年連続で、関西圏における「志願したい大学」のランキングで第1位になった。

て、7月30日にはタイ・バンコクで4大学合同留学フェアを開催。また、8月3日には大阪大で教職員ワークショップを開き、各大学の国際化推進の現状などについて意見交換した。

国際化推進で4大学協定 阪大・神大・関学大と

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町 島本町 TEL.075-961-7405 吉川 味与子 (関西大学卒業生の妻)

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

えん 燕 子 しょ う 家

資料無料送付

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!
▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号

0120(090)358

ヘルスケア研究所

180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索



7月23日（土）に台湾の高雄、24日（日）に台北で行われた「2011年度日本留学フェア」に関西大学がブースを出展しました。「日本留学フェア in 台湾」は、台湾の学生が日本留学を志し、希望に合った大学等を選択して実りある留学を達成できるようするために、独立行政法人日本

学生支援機構が毎年開催しているものです。本学ブースには実際に約400人の方々にお立ち寄りいただきました。このフェアへの参加を機に、7月23日、台北市内において校友会関係の台湾交流会が開催されました。国際部カイト由利子教授をはじめ大学関係者が出席、総勢14人の賑やかな会となりました。台湾からの参加者は校友や在学中の方々です。

交流会はカイト教授より開会挨拶があり、台湾留学生OB会・李銘坤会長の乾杯の音楽となりました。台湾から実りあるブース出展となりました。今回交流会へご出席いただきました方々に、心よりお礼を申上げます。

（国際プラザグループ、AO入試グループ）

苗村さんが軍事教練の貴重資料を大学に寄贈

戦争末期、九州に存在した万世特攻基地にまつわる資料館の整備などに熱心に取り組んでいた苗村七郎さん（昭18大経）が8月10日、戦時中の昭和17年10月に大阪府下で実施された学徒を対象とした大规模軍事演習の実態を詳細に記した「大学高等専門学校学徒野外聯合演習実施要綱」の「要綱」は戦時下、京

頭で和やかな雰囲気の中でありました。国境を越えて校友の絆を深めようと、それが和気藹々とした中で出会いを喜び、また再会の約束をして、大変有意義な時間を過ごしました。



交流会はカイト教授より開会挨拶があり、台湾留学生OB会・李銘坤会長の乾杯の音楽となりました。台湾から実りあるブース出展となりました。今回交流会へご出席いただきました方々に、心よりお礼を申上げます。

（国際プラザグループ、AO入試グループ）

阪神の大学や高等専門学校などが南北両軍に分かれて野外演習を行うにあたり、部隊編成をはじめ作戦内容などを詳細に取り決めたもの。関西大学の学部、予科、専門部に関する記述もいくつか見られる。こうした資料は現在、ほとんど残っておらず、戦争中に実施された学徒を対象とした大規模軍事演習の内容を具体的に知ることができる点で非常に貴重なもので、今後、本学の歴史的資料として活用が期待される。

本文44ページに、数枚の付表がついたこの冊子は、昭和36年に死亡した苗村さんのお母さんの遺品の中から発見されたとして、仲介の労をとった畠下辰典

いるのは、「校風や雰囲気がよい」9位、「教育方針・カリキュラムが魅力的である」7位、

「学生の面倒見が良い」3位、「親しみやすい」2位の4項目。

台湾での日本留学フェアにブース出展

留学生OB会と交流会も

翌日に開催された台北での日本留学フェアには、たくさんの校友の方々がブース出展のお手伝いに来てくれました。

皆さまの母校愛を感じ、大変実りあるブース出展となりました。今回交流会へご出席いただきました方々に、心よりお礼を申上げます。

（国際プラザグループ、AO入試グループ）

阪神の大学や高等専門学校などが南北両軍に分かれて野外演習を行うにあたり、部隊編成をはじめ作戦内容などを詳細に取り決めたもの。関西大学の学部、予科、専門部に関する記述もいくつか見られる。こうした資料は現在、ほとんど残っておらず、戦争中に実施された学徒を対象とした大規模軍事演習の内容を具体的に知ることができる点で非常に貴重なもので、今後、本学の歴史的資料として活用が期待される。

本文44ページに、数枚の付表がついたこの冊子は、昭和36年に死亡した苗村さんのお母さんの遺品の中から発見されたとして、仲介の労をとった畠下辰典

KUワーズ

For Memory & Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生活協同組合 TEL: 06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp/

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

元校友会長らと理事長室を訪れた苗村さんは、「実施要綱」を広げ、南軍の「航空隊長」として名前が記載されているところ、布陣図などを指で辿りながら、当時の状況を詳しく説明のあと、「保管をよろしく」と上原理事長に手渡した。

大学では、理事長名の感謝状を贈り、謝意を表した。

国際部のA・ベネット准教授が世界なぎなた選手権で準優勝飾る



7月3

日に姫路市立武道館で開催された第5回世界なぎなた選手権で、男子個人の部に出場したアレキサンダー・ベネット国際部准教授が、日本の強豪選手を相次いで破り、準優勝を飾った。同大会は4年に一度開催されており、日本での開催は第1回大会以来16年ぶり。

ベネット准教授は、ニュージーランド出身で、交換留学生として1年間日本の高校に留学。クラブ活動で剣道をはじめたのをきっかけに武道に惹かれ、武士道にも強い関心を抱くようになり、再来日しなぎなたも習得。母国カンタベリー大学を卒業後、京大大学院へ進み、2001年人間環境学科博士課程を修了。国際日本文化研究センター等を経て09年から関大に着任。剣

5回世界なぎなた選手権で、男子個人の部に出場したアレキサンダー・ベネット国際部准教授が、日本の強豪選手を相次いで破り、準優勝を飾った。同大会は4年に一度開催されており、日本での開催は

道7段、合気道5段、なぎなた5段で、国際なぎなた連盟副会長も務めている。英語の剣道雑誌編集長も務め、『日本教育に武道』(明治図書)ほか日本文化について英語と日本語で書かれた著書は多数ある。



(撮影/飯嶋玲子)

ユニアード・サッカー優勝 代表選手の櫻内が活躍

季競技大会は、8月12日から23日まで中国の深圳で開催さ

第26回ユニアード夏季競技大会は、8月12日から23日まで中国の深圳で開催された。日本代表選手として出場したサッカー部の櫻内渚(政策4)は、予選リーグ3試合中2試合に、決勝リーグでも英国との決勝はじめ3試合中2試合にフル出場し、優勝に貢献した。

9月1日には大学・校友会等に優勝報告に訪れ、寺内会長からは「おめでとう! この経験を糧にこれからも活躍してほしい」とお祝いの言葉と記念品が贈られた。

なお、櫻内は2012シーズンの新加入選手としてジュビロ磐田への加入が内定している。



空手道部の梶川が全日本学生で4連覇

7月3日に東京の日本武道

射撃部、西日本でW優勝 全日選抜で女子が準優勝

6月24～26日に熊本県ライフル射撃場で行われた西日本学生射撃選手権大会で、射撃部は男子が3年ぶりの総合団体優勝を果たし、女子は4連

勝利し、4連覇を成し遂げた。トーナメントでも全国のつわものたちを次々破り、決勝戦へ。梶川は得意とするチャタニヤラクーサンカーを選択し、堂々の形を見せつけ5-0で



館で行われた第55回全日本学生空手道選手権大会の女子個人形で、空手道部の梶川凜美(りみ文4)が史上2人目となる4連覇の偉業を達成した。予選を難なく通過し、決勝トーナメントでも全国のつわものたちを次々破り、決勝戦へ。梶川は得意とするチャタニヤラクーサンカーを選択し、堂々の形を見せつけ5-0で勝利し、4連覇を成し遂げた。



株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp

ISO- 9001 MOODY INTERNATIONAL

ISO-14001 MOODY INTERNATIONAL

OHSAS-18001 MOODY INTERNATIONAL

Clean
cordial
creative
convenience

大学・学生関係

(文4) 田邊伊織(化3)と女子メンバー、堀抜くるみ(社4)、松本靖世(文3)、山川七海(文3)、黄瀬優稀(文2)は、体調を崩すこともなく、良くなってくれた。

その一週間後、新潟県に会場を移し、7月2~3日に新潟県ライフル射撃場で第7回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会が行われた。スケジュール的には関東勢に余裕があり、関西勢には過酷な大会となつたが、女子は総合団体では日本大学に僅か2点及ばず準優勝、連覇はならなかつた。ただ、50m3姿勢60発競技女子団体では、堀抜くるみ山川七海、松本靖世のメンバーが団体優勝し、負けても関大女子は強かつたと感じた大會だった。



「強い関大」の一員として、結果を残す頑張りを期待している。

(監督 女川隆)
果を残す頑張りを期待してい
る。

(監督 女川隆)

てのことです。お世話になつた方に、この場をお借りしてお礼申し上げたいと思いま
す。

(能楽部主将 西口 唯)

園では前日に花火大会が行わ
れおり、学生たちは朝9時からペットボトルや割箸など約
3・5トンと大量のゴミの回
収に汗を流した。

全国学生能楽コンクールで文化会能楽部が最優秀賞受賞



7月31日に名古屋市名古屋能楽堂で開催された第3回全国学生能楽コンクールで、8大学が出場した中、文化会能楽部は最優秀賞を受賞しました。

本コンクールは、名古屋駅新能と併催され、流儀を問わず全国の大学・大学院の能楽部が出場対象となっていました。各大学はシテ、地謡を含めた5人以内のチームで仕舞、または小舞一番を演じ、最優秀大学は名駅新能の舞台で工芸ビジョンとして演技することができます。関大能楽部は、昨年も出場

し、審査員特別賞を受賞しましたが、自分たちのベストを尽くして最優秀賞を逃しましたことに、悔し涙を流しました。今年はその悔しさをバネに、必ず最優秀賞を、との思いで舞や謡の稽古は勿論、昨年の教訓をふまえて選曲や舞台での所作などにも気を配つて準備をしましたので、まさに「本望を遂げた」という気持ちです。

そして、今年は新能の舞台でも演技させていただき、千人近くのお客様の前で舞台を勤めるのは初めての経験でした。たが、晴れ晴れとした気分と共に、最優秀賞をいただいた実感が湧いてきました。

今回の結果は能楽部にとって大変に喜ばしいことではあります、これに驕ることなく、今後も気を引き締めて励んで参る所存です。

最後になりましたが、このような結果を修めることができ大変に嬉しいことではあります、これに驕ることなく、今後も気を引き締めて励んで参る所存です。



関大生500人らが淀川の大掃除を実施

淀川河川公園で8月7日、関大生ら約500人とミズノ(株)の社員30人が淀川大掃除を実施した。



関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製
厚生大臣賞
日本食品衛生協会長賞
登録商標
株式会社 春月堂
〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
代表取締役 山本 雅己(S53学1法卒)

オス! ごきげんさん。

連載 39



エルサルバドルでの仲間たち

日本の警察学校では、武道教官は柔道・剣道の高段者である警察官が、身分替えした職員が選抜されているが、ここではほぼ一般人から募集したプロの指導者で占められている。彼らは前任者に2年間の合氣道の指導を受けているものの、外人特有の足腰は弱く、座技については全く話にならないが、立技については一度教えると修得も早く、自分の物にしてしている。欠点は日本人と違つて忍耐力に欠け、応用が利かず、また創意工夫や改善が見られず、自発力に欠ける面があり、精神面の脆さが見られる。この事は、どうも国家任せ、他人任せに繋がっており、この国自体の他念している。

国家安全警察学校は、唯一の国際空港コマラバ空港の横の広大な土地にあり、年間1千人以上が集まっている。活動の場である道場は、畳もある本格的な道場で、学生は逮捕術を訓練している。他には射撃訓練、拳銃・ライフル銃を携帯しての建物進入訓練（インテルウェンシオナ）等があり、日本では特殊部隊が訓練していることを、ここでは警察官の卵が訓練している。

本来の活動以外では、平日の夜に合氣道の既存道場での指導に加えて、私

れでいる。彼らは前任者に2年間の合氣道の指導を受けているものの、外人特有の足腰は弱く、座技については全く話にならないが、立技については一度教えると修得も早く、自分の物にしてしている。欠点は日本人と違つて忍耐力に欠け、応用が利かず、また創意工夫や改善が見られず、自発力に欠ける面があり、精神面の脆さが見られる。この事は、どうも国家任せ、他人任せに繋がっており、この国自体の他念している。

国家安全警察学校は、唯一の国際空港コマラバ空港の横の広大な土地にあり、年間1千人以上が集まっている。活動の場である道場は、畠もある本格的な道場で、学生は逮捕術を訓練している。他には射撃訓練、拳銃・ライフル銃を携帯しての建物進入訓練（インテルウェンシオナ）等があり、日本では特殊部隊が訓練していることを、ここでは警察官の卵が訓練している。

来年3月には帰国することとなるが、今のところは帰国後の進路は未定である。ただ、これまでの人生の重要な岐路においては、私には詩があり、関大魂があり、願望や夢は常に持ち続けていたことが、どれ程助けられたことであろうか。「人間至る所に青山在り」の如

日本では、警察学校では、武道教官は柔道・剣道の高段者である警察官が、身分替えした職員が選抜されているが、ここではほぼ一般人から募集

国に依存する体质にも繋がっているようだと思われる。

エルサルバドルは、中米7カ国の中の1国で、メキシコとパナマの中間に位置し、面積は四国程の大きさで、約616万3千人（2008年統計）が居住しており、共和制国家である。

年前（1992年）に内戦が終了し、急速な経済復興の結果、マラスという犯罪組織が暗躍しており、一日平均11・85人（2009年統計）が殺されている。このような状況下で、国家安全警察学校での逮捕術に資するための合氣道指導は、小学生にとって、不安はあるけれども大きな目標となつて、第一の人生の賭け甲斐があると信念している。

合氣道指導の活動以外に、JICAでは日本文化紹介といったことも義務付けられており、学生時代から続けている詩吟についてもここで役に立つている。書道や空手の型とのコラボをしたりして紹介している。わが関大吟詩部は、関西吟詩文化協会の癡祥の地であり、着任後は、エルサルバドル支部を設立すべく奔走しているが、残念ながら習いたいという在エルサル日本人やエルサルバドル人はいない。



逮捕術を指導する筆者

青春の夢を追い求めて

〈下〉

川原 正

く、いつまでも若者の気持ちを持続け、人生を謳歌しようではないか。今はそう思っている

川原 正（かわはら・ただし）

昭和25年神戸市生まれ。兵庫県立鈴蘭台高等学校を経て、昭和44年関西大学社会学部に入学。吟詩部に所属し、学生時代を過ごす。48年3月卒業。卒業後、貿易会社を経て兵庫県警察巡査を拝命、平成18年警部で早期退職し、ガス関係の会社へ再就職。その後長男が兵庫県篠山市に鍼灸整骨院を開業するに当たり準備に奔走。平成21年3月からJICAシニアボランティアとして、エルサルバドルに合氣道指導で赴任。信条は「進歩と向上」。尊敬する人物は中村 天風。詩吟7段、韓国語、英語検定2級。武道歴は、合氣道4段、剣道4段、柔道2段、空手7段、天真正伝香取神道流を修める。

北から 南から

（各地支部だより）

0801()

現役学生4人が出席
母校の話に花が咲く

7月30日、熊本ホテルキャッスルで熊本県支部（野々口瑞穂支部長）の総会及び懇親会が行われた。参加者は黒田勇副学長をはじめ、大学関係者、校友会

関係者、九州各支部や千里会の代表、関学、同志社、立命館の熊本支部の代表の方々を来賓に迎え、熊本の各界で活躍する老若男女（昭和31年卒～平成23年卒）の校友を含め、総勢40人の参加となつた。

学歌合唱から始まり、お開きの心援団O.Bの演舞に合せての逍遙歌まで、昨今の母校の現状を知つたり、旧交を温めたり、福引大会を兼ねた各自の近況報告を楽しんだりした。特に東日の恒例となつた当支部校友による講演が終わり、懇親会がスタート。懇親会は総会初参加者の紹介やお楽しみ抽選会などで大いに盛り上がり、最後は逍遙歌で締め、万歳三唱で無事終了した。



出席46人で平成卒が9人
初参加者紹介や抽選会

北九州支部（坂口勝利支部長）総会は、校友会本部を始め福岡、佐賀、熊本、山口から来賓を迎え、7月23日にリーガロイヤルホテル小倉で開催した。

学歌合唱に続き、今年度は当支部の物故者に加え、東日本大震災で亡くなられた方々の冥福を願うて、7月23日にリーガロイヤルホテル小倉で開催した。

今年度の総会出席者は46人、うち平成卒業者が9人。今後は、特に平成卒の校友に声をかけ、総会出席者の増につなげていきたい。（西原正人）
(北九州市八幡東区役所区次長 西原正人 093-671)



学歌合唱に続き、今年度は当支部の物故者に加え、東日本大震災で亡くなられた方々の冥福を願うて、7月23日にリーガロイヤルホテル小倉で開催した。

恒例となつた当支部校友による講演が終わり、懇親会がスタート。懇親会は総会初参加者の紹介やお楽しみ抽選会などで大いに盛り上がり、最後は逍遙歌で締め、万歳三唱で無事終了した。

組織部からお知らせとお願い

~地域支部ご担当者のみなさまへ~

地域支部活性化プロジェクト始動

例年は、全国組織代表者会議で各支部活性化の活動報告してまいりましたが本年度はこれまでより一層深化すべく本部と支部が直に協議し意見交換を行う場を設け、支部発展に向けて「地域支部活性化プロジェクト」を立ち上げました。

まず組織部の担当者を決め、大阪府下を中心に3グループ36の各支部に対して状況をお聞きし、具体的に訪問予定を立て、順次実施していきます。

8月末実績としては、大東支部、高石支部が復活総会の開催を決定。和泉支部が活性化した再建総会を開催しました。

今後は、支部強化に積極的に取り組んでいる支部の活動への訪問、再構築を望む支部、活動が停滞している支部など、支部の役員会や幹事会にお伺いし具体的に活性化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

ご意見、ご要望などは、校友会事務局（電話 06-6368-0041～0045、FAX 06-6380-8476、Eメール koyukai@ml.kandai.jp）までお願いいたします。

志願者は、関東では明治、関西では関大がトップで、母校の人気度を心強く思う」と挨拶の後、事務局・時任から事業・会計報告が行われた。

懇親会は、寺内校友会長挨拶の後、東郷事務局長の発声で乾杯し、開宴。時を経て池内専務理事と黒田副学長に挨拶いただいた。少子化の中で躍進する母校の現状報告に、一同耳を傾けて熱心に拝聴した。また、黒田副学長は、湧水町が両親の出身地で懐かしく鹿児島にきたとのことであった。関学の黒坂幹事が、阪神淡路大震災の募金活動が交流のきっかけになったこと、立命館の前迫幹事長は、2015年に茨木キャンパスを開設するが、お互い切磋琢磨して躍進しました。お互い切磋琢磨して躍進しました。挨拶された会員スピーチでは、田中淳子さん（57文）が充実した4年間だつ

たと懐述された。

同志社の小正芳史会長からはお祝いとして焼酎が届けられ、これはジャンケン大会の結果、松比良剛弁護士（平18専法科）が獲得した。なお、今回東日本大震災の募金も行われ、全額を校友会に寄託した。



当日は、九州一といわれるサマーナイト花火大会日で、一同これを振り切っての参加で、楽しく歓談の後、逍遙歌を高らかに歌い、青木副会長（17経）の万歳三唱でお開きとなつた。

なあ、翌日、寺内会長、東郷事務局長は、時任の案内で、苗村七郎先輩（17大経）が名誉館長を務める南さつま市の万世特攻平和記念館を訪問し、慰靈碑に花束を捧げられた。

（50商 時任博幸）

（時任博幸＝099 264
7806）

会の現況についてお話があり、東日本大震災で被災した学生もあり、校友会としても支援活動をしていくことだった。福岡千里会花田名誉会長の呼びかけで、その場で義援金を募り、田中副会長に託した。

懇親会では、1年振りに集う仲間とともに杯を交わし合った。今回、3人の方の初参加があり、その中には、田中副会長、奥田課長の応援団の後輩で、元新聞社の記者をしている女性校友もあり、華やいだ雰囲気の中で無事お開きとなつた。



副会長から、関西大学及び校友会長から、関西大学及び校友会の後、田中支部から藤井会長に出席いただき、濱脇支部長の挨拶の後、田中

「進化するマンネリズム」
標榜し若手参加の運営を

（佐賀千里会（山口正文会長）
（会計 石本仁太郎）
（松尾一成＝095 844
8405）



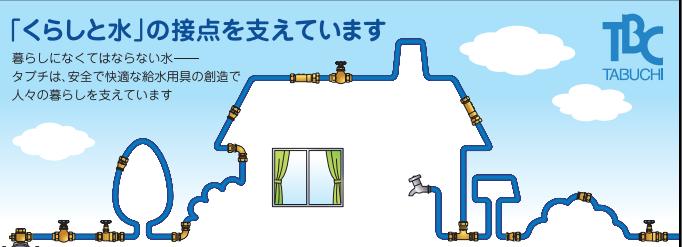


を考える会社 YKK
ap

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL 06-6947-4141
www.ykkap.co.jp

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で人々の暮らしを支えています



TABUCHI
株式会社タブチ
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210
<http://www.tabuchi.co.jp/>

しながら、若い会員の要望を入れ「進化するマンネリズム」を標榜していきたい。

なお、佐賀千里会では11月19日（土）に開催予定の佐賀青春寮歌祭に参加予定で、会員はじめ近隣支部の方にも一緒に参加いただきたいと思っている。

（松永久光＝0952-53-2190）
（松永久光＝0952-53-2190）

現役落大生2人が熱演
学生関大連へは支援金
徳島支部（山田仁支部長）23
年度総会を、7月30日、総本家橋本「そば蔵」（昭57学商・橋本慎治）で開催した。校友会本部の古川好男副会長はじめ愛媛、高知、香川、東予千里会の支部長等のご臨席を仰ぎ、また昨年より交友の始まった淡路支部（淡路島）から野添忠支部長をご来賓としてお迎えし、支部校友50人が参加した。



今年のアトラクションは、関西大学文化会落語大学の花の家こなつさん（3回生）花の家あずきさん（1回生）に熱演いただき、客席では感心しきり大変好評を得た。

その後、総会に先立ち22年度瑞宝双光章を受章された富崎昌泰氏（昭32学法）に現政権への苦言をはさみながら政治経済歴史の懇意話を語っていたいたいた。



総会では、寺澤副支部長（昭47学文）が開会を宣し、山田支

部長（昭50学經）の挨拶の後、古川副会長から母校の近況等のお話を伺った。引き続き支部長を議長に議事を進め、前年度事業報告及び決算報告を行い、役員改選は全員再選で承認を得た。

毎年阿波踊りに参加している「学生関大連」への支援金を支

部長より鈴江祐果連長（3回生）へ手渡し、また、ゴルフ大会参加の呼びかけ等を行い、白川副支部長（昭52学工管）が會議を締め括った。

その後、記念撮影、谷口副支

部長（昭54学法）の司会で懇親

会へと移り、校友会奥田課長の乾杯で開宴、和やかに語り合

い、最後に全員で逍遙歌を合唱、南淵幸雄元支部長（昭37学工電）の音頭で一本締めにて閉

宴、尺八お箏の生演奏で出席者

の方をお送りした。若い参加者

も見えるようになり、今後も徳

島支部は現役学生との絆を大切

に活動を続けて行こうと考えて

いる。

（貝出宏文＝0883-396）
（貝出宏文＝0883-396）

い、最後に全員で逍遙歌を合唱、南淵幸雄元支部長（昭37学工電）の音頭で一本締めにて閉宴、尺八お箏の生演奏で出席者の方をお送りした。若い参加者も見えるようになり、今後も徳島支部は現役学生との絆を大切に活動を続けて行こうと考えている。

思い出に話が弾んだ。

今年は、事務局からDVDをお借りし最近の大学の状況を紹介した。某大学に入学する子どもに、親父に負けたのは、親父が関西大学の卒業だと言われ、晴れがましい気分があると自己紹介され、昔日の感覚を覚えるとともに、関西大学の隆盛に関係

最後に学歌を齊唱し、来年の七夕の再会を約し、鳥取のネオン街に向け散会した。

（幹事 上山、植木（上山忠久＝0857-24-9228）

DVDで大学を紹介
校友会本部から寺内会長らを迎へ、恒例となつた七夕の日の7月7日に鳥取支部（荒田英毅支部長）の総会・懇親会を「郷土料理やぶきん」で開催した。昨年同様の30人が参加し、夢多き青春時代を過ごした千里丘の岡山支部（行本章允支部長）の第55回総会が、7月3日にアーヴィングホテル岡山で開催された。来賓の古川好男副会長、川北文雄香川支部長、佐久間真広島支部副支部長、守屋博司立命館大学校友会岡山支部長や県内外の校友ら約90人が参加。今回は久しぶりに昼間の開催となつたが、多くの校友が参集してお互いの旧交を温めあつた。

総会では、学歌齊唱のあと物故校友および東日本大震災の犠牲者に対し默祷。引き続き前年度の事業報告・会計報告、本年度の事業計画・予算案などを承認したあと、長年岡山支部の発展に尽力し、今回傘寿を迎えた尾崎貞次監査に記念品を贈呈。関西大学の黒田勇副学長が「スポーツとテレビ そして大相撲のこれから」と題して講演。八百長疑惑などのタイムリーな話題を軽妙にまた裏話を交えて話し、参加者は熱心にまた興味深く聞き入った。

懇親会では、総会の前に行われた「ゴルフ大会、ボウリング大会」で、多くの校友が参加した。次第である。最後に学歌を齊唱し、来年の七夕の再会を約し、鳥取のネオン街に向け散会した。

（幹事 上山、植木（上山忠久＝0857-24-9228）

会の優勝者の弁、初参加9人の自己PRなどでにぎやかに、楽しいひと時を過ごした。最後に全員が肩組み逍遙歌を高らかに歌い、名残を惜しみながら散会した。

(行本章允=086-428
4501)

(村木弘文)

運営協力金など審議 来年も富山市で開催



富山県支部（山本勝徳支部長）の23年度総会・懇親会は、7月30日に富山市の富山電気ビルで開かれ、女性1人を含む20人が参加した。

高橋幹事長が、前年度の活動・収支報告をした後、本年度は、運営協力金の徴収、「ひと声運動」の展開、現役学生の活動支援、次期総会も富山市で開催の活動方針を示し、了承された。

懇親会では、畠校友会事務局長代行が乾杯の発声。初参加組の「ひとつ言スピーチ」もあり、参加者は学生時代の思い出や仕事の話などで盛り上がった。奥井校友が「中締め」し、全員で逍遙歌を歌い閉会した。

(幹事長 高橋正)
(高橋正=076-475-5
726)

本部から田中副会長はじめ愛知・中勢・名張・南勢支部の役員の皆さまを来賓に迎え、会員44人が参集した。

019)

運営協力金は支部の財源安定化のため、今回は総会会費に含めだが、校友からは「年1000円の会費として3年こと計3000円を集めたらどうか」と総会案内時に欠席者から任意で1000円程度徴収したらいいなどの意見が出された。今後、集め方や対象、金額を詰める。



総会は、中村支部長の挨拶に始まり、田中副会長からご挨拶をいただきとともに、大学の近況等を興味深く拝聴した。

懇親会は、顧問の伊藤明前支部長の乾杯で始まり、初参加の校友7人の挨拶、オール関大グッズが当たるbingoゲームなど和やかな雰囲気の中、おなじみ後藤隆彦幹事の名調子の口上による逍遙歌を参加者全員で大合唱し、寺田浩穂副支部長の挨拶で幕を閉じた。

なお、先の東日本大震災において被災された在校生支援のため、総会参加者から寄せられた義援金を田中副会長にお渡しした。

(幹事長 内山勝博)
(中村民夫=0594-463)

3事業実施、2事業計画 支部活動すごぶる充実

宝塚支部（兼丸秀樹支部長）

ハイキングの会では、4月9日、旧国鉄福知山廢線跡と武田尾渓谷を歩いた。途中6つのトンネルを通り約7キロの行程を、レールの跡、枕木の上を歩き、老若男女で楽しんだ。

6月18日、宝塚の歴史を訪ねる会は、市内を一歩出て、同じ揖津の国でもあり、宝塚とも関係の深い川西市を訪問。今回は伊丹段丘の北東端にある加茂遺跡をたどった。当日は不安定な空模様だったが、市外散策という新鮮さのうちに、旧石器・縄文時代までにタイムスリップするといつ、得難いひとときを過ごした。また、いつもながらの直富講師のよどみない語り口に



■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ポルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、ブジョー、Mini、その他クラシックカー・歐州車全般



自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新！

ジロン自動車

で検索

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：(平日) 9:00～19:00 (日祝) 10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

各地支部だより

参加者一同聴き入った。

7月8日はジャズとワインの夕べを開催。阪急逆瀬川駅前の「びすとろYOSHIDA」のマスター吉田さん（昭47商）の厚意により、支部会員のためのジャズセッションで、4人のミュージシャンの生演奏の醍醐味を楽しみながら、美味しいお酒、料理、そして、ジャズに酔いしだした。

なお、今年度後期には次の2事業を予定している。是非ご参加下さい。

ハイキングの会 10月23日

（日）9時45分 阪急電車雲雀丘花屋敷駅 梅田寄り出 口バス停前集合＝満願寺、多田神社等を訪れる歴史と自然があふれる人気のコース。
葦水寄席 平成24年1月21日（土）で調整中。昨年大好評の関西大学落語大学OBによる落語。市民の方へも参加を呼びかけます。

開催場所等詳しくは機関紙「関大」1月号への折り込みチラシにてお知らせします。

参加申込みは事務局・塚本寿一 税理士事務所 0797 85 1491まで

（平15文 呂玉美知子）

「笑いプロジェクト」の2人が司会で盛り上げ

7月15日、伊丹シティホテル



9月に姫路城と明石へ 世代間の継承が課題に

関大檀原倶楽部（堤建雄会長）の第32回総会が8月6日に檀原観光ホテルに来賓、会員ら20余人が出席して開催された。吉川まさしげ衆議院議員、前川きよしげ参議院議員らの出席で例年にはない盛り上がりを見せ、第1部では新年度の役員改選ほか事業計画などが承認され

た。

月例会に加え、年末年始の忘

で伊丹支部（加藤拓支部長）23年度総会が47人の出席のもと開催された。

一部総会では「笑いプロジェクト」から関大出身の堀登志子（昭55社）、高野隆宏（平2法）両氏を迎えた巧妙な進行で始まります、伊丹市元助役の山内恒男氏をはじめとする物故校友、そして東日本大震災犠牲者の黙祷を行った。

加藤支部長の挨拶の後、議事に入り、上程された5議案について慎重審議の結果、全てが承認された。

次に第2部の懇親会に移り、司会は総会に引き続き「笑いプロジェクト」の両氏の担当で、さらに軽妙さが發揮され、その進行は好評を博した。開宴あたり田中義昭監事（校友会副会長）指揮により逍遙歌を斎唱、発展と参加者全員の健勝を祈念した。

母校関大、伊丹支部の更なる発展と参加者全員の健勝を祈念した。

福武信子副支部長の閉会挨拶をもって、またの再会（毎年7月第3金曜日）を期し総会を終えた。（広報部長古屋敷達夫）

（ヒラク・加藤拓） 072 7 85 5507

年会・新年会、年4回のゴルフコンペ、研修旅行、会員宅で行うみかん狩り・芋掘り・バーベキューと積極的な活動を続ける支部であるが、近年は支部の「顔」ともいえる御高齢の先輩方の不参加が目立つようになつた。脈々と続く伝統を受け継ぐために、これからは世代間の継承がとても重要だと感じられた。

9月には世界遺産・姫路城と明石を巡る研修旅行が行われる。校友互いに声を掛け合って一人でも多くの方が参加されることを期待している。（山本吉修）

（堤建雄） 0744 43 57

長）指揮による学歌斎唱の後、古川校友会副会長をはじめ多数ご臨席いただいた来賓の方々を紹介、代表して古川副会長から大学の近況を含めた祝辞を頂戴した。武田丈蔵支部顧問の发声で乾杯し、懇親会に入った。ア

トラクションの合間に、ご臨席各支部の近況報告を挟みながら

益、グラスを傾け和気藹々の

中、予定時間もあつという間に

過ぎ、奥田恵造校友会事務局課

長の指揮により逍遙歌を斎唱、発

展と参加者全員の健勝を祈念し

た。

母校関大、伊丹支部の更なる発

展と参加者全員の健勝を祈念し

た。

福武信子副支部長の閉会挨

拶をもって、またの再会（毎年

7月第3金曜日）を期し総会を

終えた。（広報部長古屋敷達夫）

（ヒラク・加藤拓） 072 7 85 5507

年会・新年会、年4回のゴルフ

コンペ、研修旅行、会員宅で行

うみかん狩り・芋掘り・バーベ

キューと積極的な活動を続ける

支部であるが、近年は支部の

「顔」ともいえる御高齢の先輩

方の不参加が目立つようになつ

た。脈々と続く伝統を受け継ぐ

ために、これからは世代間の継

承がとても重要だと感じられた。

9月には世界遺産・姫路城と

明石を巡る研修旅行が行われる。校友互いに声を掛け合って

一人でも多くの方が参加される

ことを期待している。（山本吉修）

（堤建雄） 0744 43 57



支部が市民活動団体に地域に根差した活動で

八尾支部（中尾達夫支部長）は、かねてより八尾市市民活動支援ネットワークセンターへの登録申請を検討していたが、6月29日に関西大学校友会八尾支部が「市民活動を行う団体」として認知され登録された。

市民活動支援ネットワークセンター登録規約に、「登録出来る団体は市民活動を行う団体であり、八尾市人権文化ふれあい部が「市民活動を行う団体」として認知され登録された。

自治振興課長が認める団体」とあり、八尾支部が単なる同窓の集まりとみなされ、市民活動団体と認めてくれるのかと不安があつたが、会則、役員名簿、活動内容がわかる資料を添付して申請した。八尾支部の活動目標

は地域に根差した活動を掲げており、「河内音頭まつり」の参加、「八尾市内史跡めぐり」の企画立案、実施が認められたといえよう。

今回、八尾支部が社会的に認められた市民団体となつたのである。登録された団体は印刷機、紙折り機、作業スペース等を低成本で使用が出来、作業室なども借りることが出来るようになった。

今後は、色々と支部活動の可能性を求めて活動したい。

(支部長 中尾達夫)
(中尾達夫= 072 998
3526)

「河内音頭まつり」で踊り方教室を開催

八尾支部は、「八尾河内音頭まつり」大パレード（8月28日開催）に向け8月20日早朝から踊り方教室を実施した。

講師には、河内音頭の理論と実践に造詣が深い八尾ミニユーティ放送（FMちやお）社長である松井幸一校友（昭41経）にお願いし、場所は、八尾市役所関大会の協力を得て、八尾小学校の多目的教室をお借りするところが出来た。当日の参加者は13人。

ベテラン組も3年ぶりの参加

組も繰り返しの基本的練習に汗を流す。踊り手が楽しくなけれ



総会を終えた。

第2部の懇親会に入る前に、支部を代表して平井支部長から東日本大震災に対する義援金10万円を古川副会長に寄託。統一地方選挙で守口市議会議員に初当選した服部浩之氏（平20情）のほか、岸田良太氏（平22文）、田村博昭氏（平23環）、原田拓哉氏（平23商）の4校友が初参加であった。

続いて櫻井孝雄四條畷支部長の発声で乾杯をし、宴に入った。アトラクションは、昨年好評だったグリーン・ノーツに再び出演を願い、懐かしのポピュラーミュージックをたっぷり演奏していただいた。最後に、伊勢重治幹事のリードで逍遙歌を高らかに歌い、万歳三唱して盛り上がる熱気の中、幕を閉じた。

第1部は、学歌齊唱に続き東日本大震災の犠牲者及びこの一年間の支部校友の物故者に対し黙祷。続いて、平井支部長、澤井良一・守口市議会議員が挨拶した。事業及び財務に関する報告と計画案をいれども何らの異議なく、全員の拍手を持って承認された。

来賓を代表して古川校友会副会長から大学及び校友会の現状報告を兼ねた祝辞を頂戴して

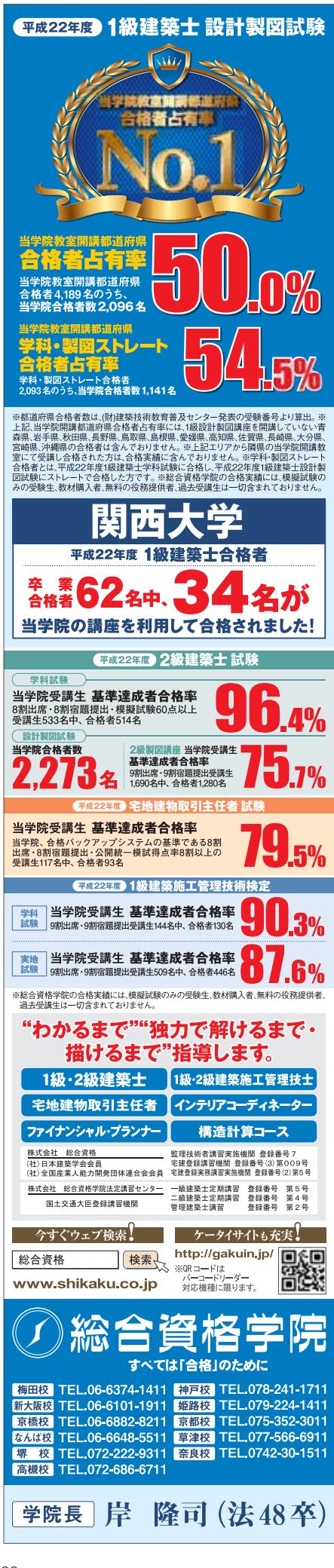
兵庫県加西市へ出かけた。4月の統一地方選挙で見事当選された澤井良一・服部浩之両

94人が参加して総会 市役所純正会も合流

守口支部（平井治支部長）の会長から大学及び校友会の現状

報告を兼ねた祝辞を頂戴して

兵庫県加西市へ出かけた。正午過ぎに兵庫県立加西フローセンターに到着。レストハ



会員の家族が発参加
若手会設立に取り組む
富田林支部（杉多弘至主

好支部で計17人の来賓の出席をいただくとともに、会員及び会員の家族51人が参加、盛大な総会となつた。なお、今回から

い年金でも、あきらめないで申請すれば、年金がもらえる場合があることを、業務の体験に基づいての説明があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

懇親会では、田中副会長の挨拶及び近隣友好支部からの活動状況や課題についての報告があつた。

で、恒例の抽選会に入り、今年は何が当たるかなど、番号が発表される度に、会場は大いに盛り上がりがつた。最後は全員が肩を組み逍遙歌を歌い、円陣の中、会員の絆を感じ、来年の再会を約しお開きとなつた。

「アンライブショウ」では、ハワイアンバンドとして関西で活躍されている『「ロナヘ』の二人の巧みな演奏と、津田夫人がメンバーである『カマカニフラ・スタジオ堺チーム』、9人の笑顔で明るく踊られるハワイアンダンスに心癒され、ほのぼのとした気分でショーを堪能した。



会員の家族も参加いただくこと
となつた。

総会は、校友及び東日本大震
災の犠牲者への默祷で始まり、
杉多支部長が「老・壯・青の参
加で 母校への愛着を。しかし
ながら、若い人の参加に難しい
ものがある」と挨拶。それを受け
け今年度から、平成若手会設立

懇親会では、今回初めて抽選会を行い、校友の山村一彦氏（昭34法）からは葡萄を、北野登己郎氏（平1社）からは豆菓子を提供していただき、熱気溢れたものとなり、大変有意義な総会となつた。

優勝は桂川恵次氏（43法）となつて、ついで桂山恵次氏（43法）でした。お詫びし、見出しども訂正します。（幹事長 秦純一）

太子聖燈会は、太子町が魅力ある街づくりのために始め、今年が4回目である。当初は2千個の献灯であったが、回を重ねにつれ増え、今年は1万個の献灯があった。

太子町で行われた太子聖燈会（しょうとうえ）＝叡福寺・西方院・和みの広場＝に協力の意味合いを持って献灯した。



聖徳太子に因み御陵の前の境内には、「和」の文字、「鳳凰」の図柄を明りで浮かび上がらせ、和みの広場では「がんばろう日本」の文字が浮かび上がった。各種団体の出店もあり、多くの人出で賑わっていた。

(幹事長 秦 純一)

130余人集い盛大に
新支部長に別處氏選出

茨木支部（北川均支部長）の

ル阪急エキスパートで、上原理事長はじめ寺内校友会長など多くの来賓、現役応援団を迎え、130人を超える校友参加の下、盛大に開催された。

くされた方々と支部会員の物故者に対し、全員で哀悼の誠を捧げ、一分間の黙祷を行つた。

総会議事では、事業報告や予算など承認され、また、役員改選では4期12年の長きにわたり支部長としてご苦労いただいた北川氏から退任の申し出があり、後任に別處の一副本部長を選任、北川氏は相談役となつ



倉田市長らの当選祝す
会員獲得活動など決定

池田支部（古川智支部長）

は、7月28日に池田市市民文化会館で総会ならびに懇親会を盛大に行つた。総会では、22年度事業として「ゴルフコンペを中心とした活動を行つたこと、23年度事業計画では新規会員獲得に向けた活動を行うことなどを決めた。

きには、その周りで拍手や歓声が起り、和やかに終始し、時間があつて間には過ぎ去った。

福田博行副支部長が茨木支部の更なる発展を祈念する閉会の

新支部長に福田平司氏を選出
ジャズボーカルギター衆

北支部（前田正支部長）の総会が、6月24日、ニコーミコンヘン北大使館で寺内校友会長らを来賓に迎え、40人の校友の参加を得て開催された。総会では、事業報告、会計報告、会計監査が報告され、他の議案として、年会費の徴収が決議され、また、役員改選とは新支部長に福田平司（昭40年）、新副支部長に梶本雅憲（昭48年）、新幹事長に市田利夫（昭45年）の各氏が就任した。その他の役員は全員留任となり、同時に若干の増員の承認をうけた。

懇親会に先立ち、角谷校友が池田JCから東北へボランティア活動に行つた状況報告を行ない、併せて義援金のカンパをお願いした。

来賓には、本部の田中副会長はじめ近隣支部の支部長等18人をお招きし、総勢50人ほどの参加で盛会だった。

各地支部だより

校友であるジャズボーカルの五十嵐典紀子さんの歌と、古池明さんのギター演奏を聞きながら、楽しいひとときを過ごしました。
（幹事長 市田利夫）

（市田利夫＝06 6375 1
336）

淀川・東淀川が総会 懇親会は両支部合同で

淀川支部（塚田邦彦支部長）・東淀川支部（四富貞男支部長）の総会及び両支部合同懇親会が、6月18日に十三のホテルプラザオーサカで開催された。

寺内校友会長はじめ、来賓の方々を含め総勢38人の出席をいたしました。気勢をあげたまま総報告共に滞りなく進行された。

その後、両支部合同の懇親会が催され、木川校友（東淀川支部）の総合司会のもと、塚田淀川支部長、寺内校友会長の挨拶から始まり、各テーブルで歓談、酒杯の交換が行われ、皆さん大いに盛り上がっている様子であった。

途中、福田校友（淀川）、岡田校友（東淀川）の軽妙な司会による空クジなしのクジ引き大会等があり、会場は興奮の渦に包まれた。

懇親会の締めでは、逍遙歌合唱と集合写真撮影を行い、再会



ピントで盛り上がる 節電省エネ景品が好評

都島支部（乙咩淑子支部長）は、23年度総会を6月18日に大阪リバーサイドホテルで校友会本部の田中義信組織副部長はじめ近隣6支部の来賓を迎えて、第1部では、田中組織副部長

の時を約しつつ、各自十三の街へと繰り出して行った。

今回も初参加の校友が複数おられた。今後も新しく出席してくれる校友がますます増えることを期待している。

（淀川支部副支部長 山本章一）
309 2751 東淀川支
部・四富貞男＝06 6
1757）

から大学の近況、お祝いの言葉をいただいた。続いての議案審議では滞りなくすべて承認された。

第2部の懇親会は、仁井副支

部長の司会で来賓の米谷晴生東成支部長の乾杯の発声で始まりました。初参加の校友3人の自己紹介から参加者全員の一言スピーチがあり、ピントゲームに入りました。今年は節電省エネという二

点で、景品には卓上小型扇風機や安眠枕などを用意したが、大変好評であった。

会員の親睦がスローガンの支部である。支部行事で毎年2～3回のハイキングを開催している。

22年4月11日「春の飛鳥路

ぶらり歩き」（参加者6人）藤ノ木古墳、法隆寺、松尾山から郡山城跡まで散策した。法隆寺の食堂で昼食の後、その食堂の

旅」（参加者7人）嵐山から小倉山へ、散策と花見を楽しめた。



春之輔師匠の落語満喫 親睦ハイクの報告も

住之江支部（籠池靖憲支部長）は、平成20年4月再建後、満3年が経過し、第3回定期総会を7月9日に大阪キャッスルホテルで開催した。

来賓として石井國男校友会副会長ほか、近隣の6支部のご臨席を賜った。ゲストに、落語家・桂春之輔師匠を招き、楽しい落語を満喫した。出席会員は20人で2人の初参加があった。未熟な支部だが、活発な支部をめざし、頑張っている。

年配のおばさんから「近道がある。私の朝の散歩道だ」と教えられ、その道を行く。「うそやろーきつい急斜面の上りや」。みんなフフフ。"すこい思い出だつた。けど、楽しかった"。

22年9月20日「立杭陶の郷見学・栗拾いバーベキュー」（参加者6人）清水会員の企画である。立杭陶の郷を見学して、薬師温泉を満喫。清水会員の畑で栗拾いの予定だったが、栗がない。のどかな田園で、バーベキューを楽しんだ。ちょっと普段できない話で盛り上がった。清水さん、ありがとうございました。

（幹事長 香西安勝）
0 390）



景色のいい公園みたいで「何だから、楽しそう」と思いきや、小倉山に登りはじめたら、途中から急な登山道。でも、麓におりて、皆で“にしんそば”食べたから、元気になつて、大はしゃぎだつた。食事をした寿楽庵の裏の家が、瀬戸内寂聴さんの家だと知りさうそく見学に。楽しい一日だった。（塩田憲治）
（南港さくら幼稚園＝06 66
12 03335）

城東・旭・鶴見合同総会
染太師匠がゲスト出演

一田だつた (塩田憲治)
(南港さくら幼稚園 = 06 66)
12 0335

め近隣友好支部の東成・都島・大阪中央とあわせて8人のご出席を得た。

余興のゲストに林家梁太師の出演。本学OBで英語落語が得意な斎家さんだ。当日は楽しいお話に加えて、軽快なBGMと共に紙とハサミを巧みに動かして見事な切り絵をご披露、拍手喝采だった。

宴もたけなわ、笑顔で写真におさまるグループ、名刺交換して挨拶する校友、久し振りの再会に肩をたたきあつて喜ぶ旧友、ここで初めて知り合いになりビルをつぎ合つて歓談する校友

… これこそが関大校友会。
やがて首藤旭支部長の閉会の

江戸時代の二大私塾を 阪大、関大で継承に感動

（城東・近藤正昭）	5
鶴見・徳野豊	5
二 二	5
6	4
6	5
9	5
5	2
2	旭・首藤治
6	6
9	9
1	1
3	6
5	6
7	1
9	1
3	6
5	6
7	1

6年の歴史がある。また、大学昇格時には大阪財界がバツクアップした。初代理事長は大阪商工会議所の会頭であつたと述べ

神社境内で新能を鑑賞 今後は支部恒例行事に

神社境内で薪能を鑑賞
今後は支部恒例行事に

了した
（幹事長 本田
（本田組本店・本田勝則＝
6461 1933）

べられた。議事に入り、事業・決算、会則一部改正などの議案が決議された。

られた。この講演には一同感激を新たにした。





北嶋教授と新入会員に記念品を贈呈
バザーの一部は東日本震災義援金に

在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関大会（森下功会長）の第46回総会が、7月13日にホテル大阪ベイタワーで開催された。

開会に先立ち3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々に対し、哀悼の意を込め出席者全員で黙祷を行った。

第一部は、学歌斎唱、会長挨拶のあと議事が進められ、22年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。森下会長は、「自動車業界を取り巻く環境は、東日本大震災発生以降、自動車メーカーにおいては大幅に生産台数が減少し、販売店においてもお客様にお届けする車

は文句なしの快晴であった。午後4時に集合し、観能に先立ち当支部幹事でもある阿部野神社中塚宮司のご厚意により、茶室をお借りして懇親会を開いた。14人の参加者の他、校友会本部より寺内会長にもご参加いただき、茶室や庭のベンチなど思い思いの場所で、用意した弁当を広げ歓談し、大いに盛り上がった。

開催の午後6時前に神社側から迎えに来ていたとき、1千人近い見学者の中、最前列に用意された「阿倍野支部席」に案内

があり、仕舞、狂言、能と演目が進むにつれ、景色が夕闇に変化してゆき、日が落ちた境内には篝火が燃え上がり、舞台の舞と謡と境内の雰囲気が溶け合つて、独特の世界を醸し出した。

来年も伝統ある阿部野神社の薪能観能会を企画して、支部恒例行事にしていきたいと思う。興味のある支部校友の皆様は是非ご参加下さい。

（松田商事） 06-6622-580
（副支部長 九之池榮一）

第2部は乾杯の後、懇親会に移り、各テーブルごとの記念写真を撮影。また今年入った新卒会員2人を紹介し記念品を贈呈。恒例のチャリティバザールも開催。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声が飛び交う中、日頃は仕事上ライバルである会員同士がこの時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は、毎年行っている（財）大阪交通災害遺族会への寄付と今年は東日本大震災の義援金に充てられる。

（事務局長 中野吾一）
（大阪トヨタ自動車経営企画部
経理グループ・中野吾一） 06-6451-6853



7月16日に司法書士関大会（中村博会長）の司法書士試験合格祝賀会兼新入会員歓迎会が、大阪キャッスルホテルで開催され、大学から上原洋允理事長、楠見晴重学長ほか関係者6人と校友会から古川好男副会長、一輪浩幸顧問らを来賓に迎えたとともに、22年度合格者20人と会員を合わせ総勢69人が参加した。

冒頭の中村会長の挨拶の中で、近畿圏の合格者が平成21年度は13人しか判明せず、会員の方々には寂しい思いをさせた。22年度は22人判明し、本日20人が参加。22人の合格者の学部別内訳は法学部が17人、商学部が3人、総合情報学部が1人、経済学部が1人であった。この合格者は全員に記念品の贈呈が行われ、当会の参与で6月の日本司法書士連合会総会において副会長に再選された井上利博先輩の発声で乾杯し、歓談に入った。

懇親に入り、吉田栄司法学部長、宇惠勝也商学部長、木谷晋市総合情報学部長より祝辞をいただいた。

2人の新入会員紹介の後、本日の主役である合格者が壇上にあがり、自己紹介並びに今後の抱負等を大いに述べてもらい、恒例の記念写真の撮影を行つ

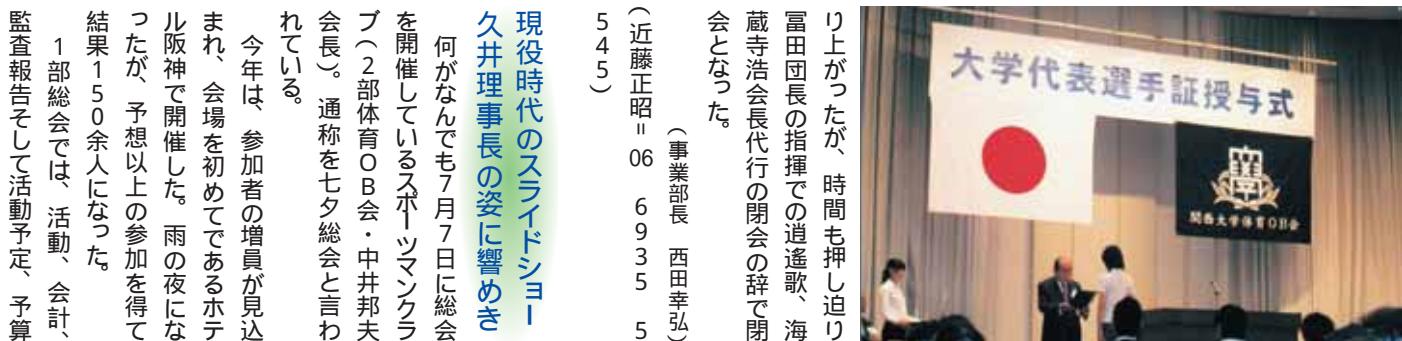
いた。その後、薪能が始まり、仕舞、狂言、能と演目が進むにつれ、景色が夕闇に変化してゆき、日が落ちた境内には篝火が燃え上がり、舞台の舞と謡と境内の雰囲気が溶け合つて、独特の世界を醸し出した。

来年も伝統ある阿部野神社の薪能観能会を企画して、支部恒例行事にしていきたいと思う。興味のある支部校友の皆様は是非ご参加下さい。

が無いという非常に厳しい状況下にある。しかしながら、7月以降は生産がほぼ通常レベルまで回復する見通しであり、今まで蓄積した力を存分に發揮し、「頑張ろう自動車関大会」・「頑張ろう日本」を合言葉に、

7月22年度合格者20人迎え
7回目の祝賀会を開催
7月16日に司法書士関大会（中村博会長）の司法書士試験合格祝賀会兼新入会員歓迎会が、大阪キャッスルホテルで開

格祝賀会は、塙田貴美代前会長が平成16年就任時、新人確保と関大における司法書士の認知度をアップすることを目的として、平成16年度合格者を対象に平成17年から始められ、今年で7回目を迎えたことを報告した。



り上がつたが、時間も押し迫り富田団長の指揮での逍遙歌、海蔵寺浩会長代行の閉会の辞で閉会となつた。
 (事業部長 西田幸弘)
 (近藤正昭= 06 6935 545)

現役時代のスライドショー 久井理事長の姿に響めき

何がなんでも、伊7日は総会を開催しているスポーツマンクラブ(2部体育OB会・中井邦夫会長)。通称を七夕総会と言われている。

今年は、参加者の増員が見込まれ、会場を初めてであるホテル阪神で開催した。雨の夜になつたが、予想以上の参加を得て結果150余人になつた。

1部総会では、活動、会計、監査報告そして活動予定、予算



案等が、無事に承認された。
 2部懇親会は、中井会長の挨拶、来賓の紹介の後、上原洋允法人理事長、古川好男校友会副会長の挨拶をいただき、JUの会の名付け親と並ぶ森本靖一郎法人理事・相談役の乾杯でスタートした。いつもながら好物の黒ビールでの杯は言つてもない。

今回の企画ひとつ、後ろを振り向かず、ただ前進のみしていつわれた現役時代を、集められた貴重な写真を基にプロジェクターで投影し、明日の糧にしていただきたく実施した。合宿や練習風景に「おお若いなー」の声。当会の初期の総会風景では、あの久井理事長のお姿があり、会場は大いに盛りあがんだ。自画自賛であるが、「川の流れの様に」のBGMは過ぎ去つし

日々を取り戻すに十分な役目を果たし、明日に向かつて前進していくだけれどと思へ。過去を振り返り明日に生かして欲しいと想つ役員の思いは伝わったよひで、苦心が報われた感じである。

特別出演のチア・リーディングサークル「クレアーズ」が、精一杯若さを円舞で表して集団の織姫が舞い降りたかと思われた。牽牛も若さを取り戻した如くであつた。雨の振る大阪に大きな明かりを見つけて、

余半ば、小坂最高顧問(体育OB会会長)の現在の関西大学体育会の報告、また優しさの中に厳しく体育指導育成の姿勢のお言葉にOB感動の一瞬であつた。

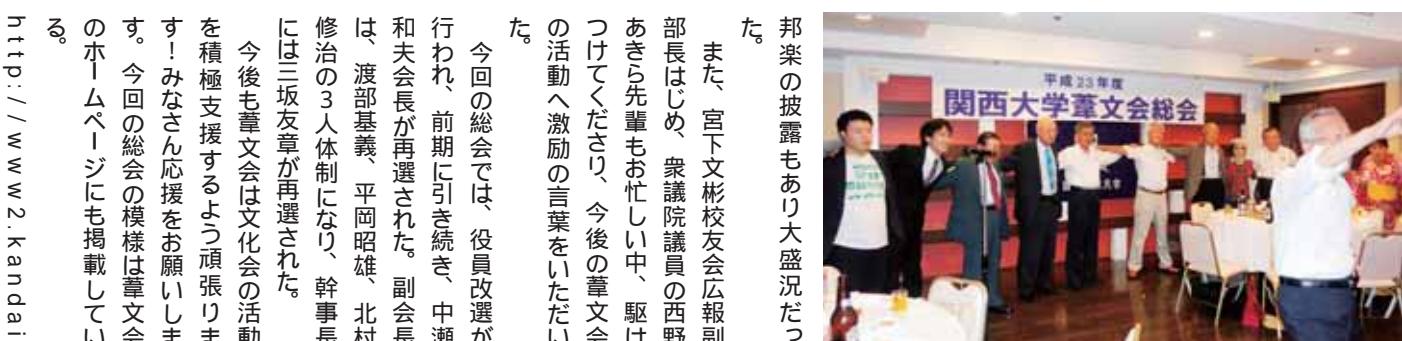
長柄会・高副会長による振りで、恒例の逍遙歌。肩を組むOB諸兄、関西大学上育つた!とを大いに語り得る夜だつた。

(福井県 陸田弘行)
 (関西船用= 06 6572 021)

邦樂の披露もあり大盛況だった。また、関ト文彬校友会広報副部長はじめ、衆議院議員の西野あきら先輩もお忙しい中、駆けつけてくださり、今後の葦文会の活動へ激励の言葉をいただいた。

今回の総会では、役員改選が行われ、前期に引き続き、中瀬和夫会長が再選された。副会長は、渡部基義、平岡昭雄、北村修治の3人体制になり、幹事長には三坂友章が再選された。

今後も葦文会は文化会の活動を積極支援するよう頑張ります!みなさん応援をお願いします。今回の総会の模様は葦文会ホームページにも掲載してい



今回、12人が参加し、参加曲2曲を練習。夜は、懇親会のビアガーデンでバーベキューを行なった。翌日は、大阪市内で本番に向けて、定期練習にも熱が入りそうだ。

昨日の本番に向けて、大阪市内で定期練習にも熱が入りそうだ。そのため、8月27・28日に奈良県青少年会館ユースホステルで夏合宿を行つた。

今回は、12人が参加し、参加曲2曲を練習。夜は、懇親会のビアガーデンでバーベキューを行なった。翌日は、大阪市内で本番に向けて、定期練習にも熱が入りそうだ。そのため、8月27・28日に奈良県青少年会館ユースホステルで夏合宿を行つた。



7月2日、大東洋で葦文会(中瀬和夫会長)の総会が開催された。当時は、本部役員をはじめ、邦楽部、落語大学の学生など45人の出席があつた。現役学生による落語や

(三坂友章= 0797 85 031)
 (藤本康志)
 ポールトクーラOB会(武内博資金長)では、11月3日に伊丹市の伊丹ホールで開かれる第13回関西男声合唱祭バッカスフェスタに向けての合唱曲の練習のため、8月27・28日に奈良県青少年会館ユースホステルで夏合宿を行つた。

合唱祭参加曲を練習 12人が奈良で夏合宿

12人が奈良で夏合宿

12人が奈良で夏合宿

経営教育の高大連携 柴教授の説明に感銘



天商闘大会（山田榮一会長）
23年度定例会は、8月17日にK
R大阪で開催された。
木口誠一 天商校長（昭50学
商）から、天王寺・市岡・東の
市立3商業高校統合後の新校名
は、ビジネスフロンティア高校
と決定し、天商校地に新築中の
新校舎は、来年4月にオープン
されることなど、スーパービジ
ネスマント育成に向け情熱を傾け
て取組んでおられる話を聴き
し、次いで、柴健次会計専門職
大学院教授から経営教育の高大
連携について、学会協議会での
シンポジウムの基調講演を来る
11月20日、100周年記念会
館でなされるなど、われわれに
関心の深いお話を一同感銘を受けた。



上田昭三ゼミナール千昭会が、
20年ぶりに恩師上田先生を囲
み、57人の参加者を得て7月
9日、ザ・リツカールトンホ
テル大阪で開催された。

上田先生も千昭会の開催を大
変喜んでおられ、懐かしい先輩、
同輩、後輩が一堂に会して、と
ても楽しい一時を持つことがで
きた。「夫婦での参加も歓迎と
いうことで、梶田惇前会長は、
「夫婦で出席され、上田先生の
温顔が、一際懐かしさにほじる
館でなされるなど、われわれに
関心の深いお話に一同感銘を受
けた。

中尾前高検検事長が講演
「法務・検察あれこれ」
睦法会（赤松建美会長）総会
は、6月4日にヴィアーレ大阪
で、会員41人、千里山法律学会
(千法会)会員3人が出席して
開催された。

第1部総会は、赤松会長の挨拶、葛原力三千法会会长の挨拶の後、議案の審議が行われ、22年度事業報告・会計報告・監査報告があり、報告案件はすべて了承された。続いて、23年度事業計画案、同予算案と千法会創立80周年記念事業について提案があり、いずれも原案通り承認された。

議事終了後、赤松会長から千法会の逢澤幹事長に今年度の活動支援金を贈呈した。
第2部の講演は、前大阪高等検察署検事長（現弁護士）の中尾巧氏（昭45）から「法務・検察あれこれ」をテーマに講演い

绍介に入り、多士済々の集いに力強さを感じるとともに、本会の存在意義を実感して散会した。（会長 山田榮一・昭25大経）

ぶ姿が感動的であった。
今後は左記のホームページで連絡を取りあい、来年は一人が一人の会員を誘い、100人にしようと役員一同はり切つて、来年度も予定では7月14日（土）同じくザ・リツカールトンホテル大阪で開催できるよう準備を進めている。

<http://sensyoukai.web.fc2.com/>
(森本弘明)

現役の最優秀賞受賞祝う 能楽部の発展を熱く論議 瓢箪会（梶井俊司会長）は

創部88年を迎えた文化会能楽部のO B・O Gが所属している。

その23年度総会が8月7日に豊

中不動尊で開催された。参加者は梶井会長はじめO B・O Gが15人。また、顧問の政策創造学部・深井麗雄教授も駆け付けて下さり、現役生14人を含めて総勢30人であった。



ただいた。
千法会O Bで、検事としての仕事以外に入国管理局長の経験者は初めてで、当時の苦労話や入管行政の空港・外国人入定住問題、阪神淡路大震災時の検察の対応での苦労話など貴重な経験談を講演していただいた。

記念写真を撮り、第3部懇親会は宮本卓郎先輩（昭34）の乾杯の発声で開宴。国家公安委員長として公務多忙の中を駆けつけていた中野寛成氏（昭38）からもご挨拶をいただき、また飛び入りの余興として柿田昭則氏（昭40）の石見神楽の舞のあと、恒例となつたビンゴも楽しみ、世代を超えて親睦を深めた。

来年度は6月2日（土）に開催を予定している。（主原信宏）

その後、現役生による仕舞・素謡の会が行われ、仕舞2番、素謡2番、先述の最優秀賞を受賞した仕舞「天鼓」が披露された。現役生はO.B・OGの敵しくも温かい目で見守られるなか、関大能への決意を新たにする良



上海関大ゴルフ部が初の準優勝 第12回大学対抗ゴルフコンペで

毎年5月に日本全国出身大學O.Bでチームを作り、親睦を目的としたゴルフコンペが開催され今年で12回目となる。年々参加校も増え、2日間にわたり熱い戦いが繰り広げられる。上海関大(横田和彦会長)は第2回目より出場しているが、なんと今回も準優勝!といつ成績であつた。

今年は、東日本大震災の影響もあり順延し、8月6~7日の2日間、東大・京大・早稲田・慶應・立命・関学など29校のチームから約300人が参加して、上海国際カントリークラブで行われた。

上海関大ゴルフ部は、去年の24位から大躍進。チームは、谷誠先輩、平井利武先輩(体育会ゴルフ部キャプテン)を中心によどまり、毎年関東圏の大学優勢の中で、優勝の早稻田大学には一步及ばなかったが、何とか関西の意地を見せることができた大会となつた。

特に表彰式では、なかなか名前が発表されず、3位の京都産業大学が発表された後は、残るは、大いに盛り上がった。

上海では、毎年各大学のO.B

い契機になつたと思ひ。様々な課題を抱えるなかで、能楽部の発展のために何をすべきかが熱く議論された有意義な総会となり、関大能での再会を約し解散となつた。

(高等部・高崎亮太)

今後の主な大会としては、第11回関西圏大学対抗コンペが10月16日(日)シルポートにて、関関戦が10月22日(土)シルポートにて、第1回六関対抗戦が

11月6日(日)(場所未定)まで第2回関関同立対抗コンペが11月20日(日)シルポートにて関大が幹事校となつて開催される。

(幹事 山本震)

(山本震)=86-1370-178-2878
E-mail: yamamoto@shystrading.com

北海道の対校戦で5位 初のホールインワンも

第12回関西六大学O.Bゴルフ

対抗戦(はちはち会)が8月8日、札幌芙蓉CCで122人が

参加し盛大に開催され、北海道支部(木村勇市支部長)では15人体制で参加した。

今回の幹事校神戸大学の発案により、スタート前に全員で先日の東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げ、「冥福を祈つた。

晴天のもと、関西弁が随所に飛び交い、対抗戦とはいっても和やかな雰囲気のうちに競技は終了。各校のダブルペリア

ハンドイのネットベスト4の集計結果が、懇親会会場の札幌ラグオートホテルで発表され、我校は297・2ポイントで第5位となつた。

因みに、優勝は立命館大で、

我校は今回も有力なボイントゲッター2人が参加出来ず苦戦を強いられたが、初参加の相原氏、毎回着実に貢献される林氏、北村氏、中村氏が大奮闘!

上、我校の石田一幸氏が大会史上初のホールインワン達成の快挙が発表され、全員から祝福を受け一段と盛り上がつた。支

部の案で祝賀会を改めて9月にやるべしとのおまけまでついで第5位の無念さも何處へやら、発展的な結果でお開きとなつた。

(松本陽一)
(キムラ・木村勇市)=011-721-4311



制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 樂 信 義

本 社 〒660-0815

尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号

電話 大阪(6481)8807(番) FAX(6482)7172

〒667-0033

東京都練馬区高野台2丁目6番16号

電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430

ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

良縁お世話致します

婚活(活動)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

**ブライダル
ナカノ** TEL 06-6702-8624
ホームページ <http://www bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MCSA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員



就職氷河期といわれ続けて久しい折、震災の影響も加わり、学生達の就職活動は更に厳しい状況が続いている。従前のマニュアルに従つた型どおりの対応では結果を出すことは困難で、指導側にも採用側的的確な二一ツを踏まえたアドバイスが求められている。こうした中で、関西大学名誉教授の大倉雄次郎氏が16年間また画期的な指導経験を踏まされた。同書では、業界人

就職氷河期といわれ続けて久しい折、震災の影響も加わり、学生達の就職活動は更に厳しい状況が続いている。従前のマニュアルに従つた型どおりの対応では結果を出すことは困難で、指導側にも採用側的的確な二一ツを踏まえたアドバイスが求められている。関係各位には、是非ご一読をお薦めしたい一冊である。

(京都学園大学 経営学部教授
竿田嗣夫)



『「企業の本音」がよくわかる！大倉式 就活ナビ』
大倉雄次郎（名誉教授）著
新星出版社刊
定価1200円+税



新刊

紹介

新刊

紹介

新刊

会
社
催
し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部關係】

平成23年度校友総会 10月16日(日) 午後1時 千里山キャンパス第2学舎4号館「BIGホール100」
若手校友落語家応援「関大寄席」 11月23日(祝) 午前10時 天満天神繁盛亭
平成24年校友会新年互礼会 平成24年1月14日(土) 午後6時 大阪新阪急ホテル
第98回定時代議員会 3月24日(土) 午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館

【地域支部】

西宮支部総会	10月1日(土)午後6時	ノボテル甲子園(10,000円。栄興電機 工業・小坂圭一=06 6491 5301)
大阪中央支部総会	10月1日(土)午後6時	シティプラザ大阪(伊藤晃充=0743 71 2285)
交野支部総会	10月2日(日)午後6時	交野市立保健福祉総合センター(安 原敏夫=072 892 6714)
東成支部総会	10月4日(火)午後6時	ホテルアヴィーナ大阪(米谷晴生=06 6981 3858)
川西支部総会	10月8日(土)午後6時	アステ川西6階大ホール(=06 6491 5301)
宝塚支部総会	10月8日(土)午後6時半	宝塚ホテル(塚本寿一=0797 85 1491)

香川支部総会 10月15日(土)午後5時 全日空ホテルクレメント高松(星タクシー・川崎有二=087 821 7070)
愛知東支部総会 10月16日(日)午前11時 ホテルアソシア豊橋(中村一雄=0532 62 8938)
愛知支部第9回総会 10月22日(土)午前11時半 名古屋観光ホテル(知多工業・森田敏二三=0562 33 5822)
高知支部総会 10月22日(土)午後6時 高知会館(岡内紀雄=088 873 3270)
大分千里会総会 10月22日(土)午後6時半 大分全日空ホテルオアシスタワー(徳重忠男=0977 27 8700)
大東支部復活総会 10月22日(土)午後6時 大東市民会館(清水正義=072 871 3300)
西淀川支部総会 10月22日(土)午後5時 ホテルグランヴィア大阪・レストランアップ(西山正明=06 6474 8587)
枚方支部総会 10月23日(日)午後5時 ひらかた仙亭(阿部進=072 805 0005)
三重中勢支部総会 10月29日(土)午前10時半 プラザ洞津(森貞弘=059 231 0295)
首都圏支部連合会総会 10月29日(土)午後1時 関西大学東京センター(関西大学東京センター=03 3211 1670)
箕面支部総会 10月29日(土)午後5時 箕面観光ホテル(日産チェリー箕面販売・藤元尚宏=072 722 5581)
神崎支部総会 10月30日(日)午前10時 香寺荘(坂本喜則=079 227 3510)
愛知支部母校見学会 11月3日(祝)午前10時 千里山キャンバス(知多工業・森田敏二三=0562 33 5822)
神戸支部ゴルフ親睦会 11月3日(祝) 三木セブンハンドレッド倶楽部(プレ-費1万3千円+参加費4千円。東光商会FAX=078 453 2171、ku1886@nifty.com)
高石支部創立50周年記念総会 11月5日(土)午後6時半 ホテル・レイクアーレスター アルザ泉大津(尾崎義之=072 262 5378)
山口千里会総会 11月5日(土)午後7時 新幹線新山口駅前・山口グランドホテル(男性8千円、女性5千円。北乗吉道=0893 86 2626)

吹田支部第40回記念親睦ゴルフ大会 11月6日(日)午前8時15分集合 アートレイクゴルフ俱楽部(プレー費(昼食・会食込)2万1,590円+参加費3千円。大倉三郎=電・FAX 06 6388 2294)
沖縄支部総会 11月11日(金)午後6時45分 沖縄ホテル(南西環境研究所・田中順一=098 835 8411)
京阪沿線近隣支部親善ゴルフ大会 11月11日(金)午前8時集合 交野カントリークラブ(参加費5千円。ゴルフ場支払いは各自。寝屋川支部・今井邦昭メール=kuniimail09@gmail.com)
岐阜千里会総会 11月13日(日)午後4時 岐阜グランドホテル(ハピックス・宮地博=058 296 3911)
生駒支部総会 11月13日(日)午後5時 近鉄生駒駅・メルヘン(藤俊弘=0743 79 5157)
備後支部総会 11月19日(土)午後5時半 福山ニューキャッスルホテル(8千円、女性3千円、平成10年度以降卒5千円。福山包装・畠崎雅則=0849 43 1741)
平野支部総会 11月19日(土)午後6時 パル法円坂(田中義信法律事務所・田中義信=06 6316 0348)
泉南支部総会 11月20日(日)午前11時 場所未定(築野由照=072 476 1782)
神戸平成俱楽部冬の懇親会 12月3日(土)午後4時 神戸東急イン(3千500円。東光商会 FAX=078 453 2171、ku1886@nifty.com)

【職域会ほか団体】

関大法曹会創設50周年記念ゴルフ大会 10月1日(土)午前9時 鳴尾ゴルフ俱楽部(担当副幹事長・小寺陽平 FAX=06 6365 1768)

関大法曹会創設50周年記念総会 10月14日(金)午後6時 大阪新阪急ホテル(尾島法律事務所=06 6363 2870)

応援団OB長柄会総会 10月15日(土)午後6時 大阪新阪急ホテル・花の間(中村司法書士事務所・中村博=06 6705 5678)

学部27周年会総会 10月18日(火)午前10時半 肥後橋・徐園(8千円。畠下公認会計士事務所=06 6773 3871)

大阪家事調停協会関大会総会 10月21日(金)午後6時 プリムローズ大阪(鍋島町=072 221 5269)

38年卒体育会・応援団同期会 10月22日(土)午後6時 がんこ阪急東通り店(6千円)。硬式野球部・草川雄二=090 9217 5745、アイススケート部・岡橋庄二郎=090 1675 8675、空手道部=山元吉明=090 1247 5950、射撃部・女川隆=090 3274 4038))

二九千里会総会 10月29日(土)午後5時 ホテルプラザオーサカ(水野富藏=072 922 0864)

体育会自転車部OB総会 10月下旬の土曜日 関西大学内で開催(詳細未定)(山本修平税理士事務所・山本修平=06 6362 0186)

三二会総会 11月5日(土)午後3時 校友・父母会館会議室(宇野稔=06 6356 0109)

学部二六年会卒業60周年記念総会 11月14日(月)午前11時 肥後橋・徐園(1万円)。東浦栄一=06 6921 0874)

司法書士関大会総会 11月18日(金)午後6時 大阪キャッスルホテル(中村司法書士事務所・中村博=06 6705 5678)

関大不動産鑑定士クラブ総会 11月19日(土)午後4時 100周年記念会館・レス特朗紫紺(笠井不動産鑑定=06 6311 1205)

経済人クラブ第193回例会 11月21日(月)午後6時 大阪新阪急ホテル(校友会事務局=06 6368 0041)

東京経済人俱楽部総会 11月28日(月)午後6時半 場所未定(関西大学東京センター=03 3211 1670)

中国文学科創設60周年記念の集い 12月23日(金)午後2時 千里山キャンパス・第1学舎

お悔み申し上げます

敬
私
稿

25 専2法・27学法	元東大阪市	溝住光二（たきすみ・こうじ）昭
議會議員、社会保険労務士	7月3日死去。85歳。東大阪市。	
44学工金、サイシン工業取締役	山口富男（やまぐち・とみお）昭	
工場長）7月5日死去。65歳。	戸田市。	
寅名巖（はまな・いわお）昭		
関甲）7月14日死去。84歳。西		
富市。		
石丸光一（いしまる・じゅういち）		
昭56一高・62学文中、大一化工		
工業所代表取締役社長、此花支		
部幹事）7月14日死去。48歳。		
大阪市。		

飯田悦生（いいだ・えつお＝昭39学経、コピーライター・随筆家）平成23年1月1日死去。69歳。
渡辺義武（わたなべ・よしたけ＝昭17専2商）1月14日死去。90歳。今治市。
山際隆一（やまきわ・りゅういち＝昭26学経、元今川証券常務取締役）5月20日死去。85歳。

校友会では平成3年から常議員を務め、財務副部長を2期、財務部長を3期。18年から副会長を1期務め、21年から参画。大学関係では平成8年から法人評議員になり、12年から監事を1期、16年理事に就任し2期目。太陽ASG有限責任監査法人の前代表社員で、会計士関係では日本公認会計士協会理事、同近畿会副会長2期などを歴任。また、公認会計士関大会会長、会計人会副会長などを務め、芦屋支部会計監査を現任。他に学校法人履正社、鴻池奨学財団・小野奨学財団の監事も務めていた。

A small portrait of a man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and red tie.

を務めた。専門は中国考古学。

石田光男（いしだ・みつお）昭27
学終、勝光社顧問・元社長、五
七会副会長、元校友会代議員
7月25日死去。86歳。宝塚市。

ご 良 縁

株式会社 **エムロード** Marriage Road

♪ 私どもに届いたお手紙です。

エムロードの皆様、本当にお世話になりました。

お見合いをしている間は期待や不安が入り混じった気持ちで、常にハラハラ・ドキドキしているような感じでしたが、とても楽しく過ごさせていただきました。結婚についてだけでなく、いろんなことを真剣に考え、人間的に成長できたんじゃないかなと思います。本当にありがとうございました。(女性記)

京都大学大学院工学研究科卒 31歳 男性

大阪大学法学部卒 法人職員 26歳 女性

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべて手づくり
100%の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

成婚率の高さがキメテ!!

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧にお世話をさせて
いただいている所です。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一のアドバイザーが担当)
- 4 自社会員のみの構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護
の為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
0120-4122-46



直 **大阪** 大阪市北区茶屋町8番21号 ジオグランデ梅田 3101
営 **神戸** 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
店 **京都** 京都市下京区室町通綾小路上る鶴鉾町480番地
オフィスワン四条烏丸6F

携帯サイト m-road.info エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

未来への先駆を担う 「総合開発事業」の リーディングカンパニー

日本エスリードは1992年の設立以来、「住む人の立場に立った住まいづくり」という貫いた理念により、マンション業界のリーディングカンパニーへと急速成長いたしました。この長引く不況下でも、弊社では短期的な売り上げの確保より、あえて長期的な安定成長を念頭に置いた経営基盤の確保を優先してきました。

現在は新しい新しい発想で、着実な成長を務めること。優れた商品企画力と強い営業力を土台に、市場のニーズを捉えたアクションを着実に行うこと。社員一同の高い意識と専門知識を財産として、より強い歩みで未来へ前進してまいります。



洗練と上質、優美なる邸。

近鉄南大阪線 準急停車駅

「河内松原」駅

徒歩7分

大きく変貌する天王寺エリアへ準急1駅

「大阪阿部野橋」駅へ

1駅9分



【カーナビ利用の際は【松原市松ヶ丘1-10】をご入力ください。】

エスリード松原松ヶ丘第2 第3期分譲開始!

販売価格(税込)

2LDK

1,800 万円台

住居専有面積 55.81m²

販売価格(税込)

3LDK

2,000 万円台

住居専有面積 55.79m²

■物件概要●名称/エスリード松原松ヶ丘第2●所在地/大阪府松原市松ヶ丘1丁目358-45地番(地番)●交通/近鉄南大阪線河内松原駅徒歩7分●地域・地区/第2種中高層住居専用地域、法第22条指定区域、第2種高度地区●地目/宅地●建ぺい率/60%●容積率/200%●敷地面積/3,710.48m²●建築面積/1,605.04m²(建築確認表示面積)●建築延床面積/7,985.39m²(建築確認表示面積)●構造/鉄筋コンクリート造、地上10階建●戸数/114戸●販売戸数/36戸●販売価格(税込)/1,860万円~3,410万円●最多販売価格帯(税込)/2,000万円台(6戸)●住居専有面積/45.21m²~82.13m²●間取り/2LDK~3LDK●専用ポーチ面積/7.56m²~11.90m²●バルコニー面積/10.26m²~33.19m²●ルーフバルコニー面積/11.66m²~52.71m²●専用庭面積/10.01m²~18.76m²●管理費(月額)/5,300円~9,700円●修繕積立金(月額)/4,400円~8,000円●修繕積立一時基金(引渡時一括)/264,000円~480,000円●ペット登録料(月額)/100円(1頭羽)●駐車場/107台●駐車場使用料(月額)/4,500円~12,500円●バイク置場/7台●バイク置場使用料(月額)/1,000円●ミニバイク置場/8台●ミニバイク置場使用料(月額)/700円●自転車置場/229台●自転車置場使用料(月額)/200円●ルーフバルコニー使用料(月額)/200円~1,100円●専用庭使用料(月額)/200円~400円●敷地所有者/日本エスリード株式会社●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による共有、建物は区分所有●管理形態/区分所有者全員にて管理組合を結成し、管理会社に委託●管理会社/エスリード株式会社(国土交通大臣(2)第061002号)●建築確認番号/第KKK00907756号(平成22年5月21日)●竣工予定/平成24年1月(予定)●入居予定/平成24年2月(予定)●事業主(売主)/日本エスリード株式会社●設計・監理/株式会社都市建築研究所●デザイン監修(外観・エントランス)/株式会社インダーデザイン●施工/株式会社浅沼組●広告有効期限/10月30日

国土交通大臣免許(4)第5489号 (社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟
(社)不動産協会会員 東京証券取引所1部上場 大阪証券取引所1部上場

■主 日本エスリード株式会社

〒553-0003 大阪市福島区福島6-25-19 TEL.06(6345)1880(代) FAX.06(6345)1770

20,000戸を超える
実績を誇る、
信頼のエスリードライフ。
※平成23年6月現在

お問い合わせは「エスリード松原松ヶ丘第2」マンションギャラリー



0120-114-882

インターネットでもエスリードマンションシリーズのマンション完売情報を提供しています。

<http://www.eslead.co.jp/>